

# 人権についての関市民意識調査 調査結果報告書

平成 28 年 8 月

関 市



# 目次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
<b>II</b>	<b>調査の結果</b> .....	<b>2</b>
1	回答者属性.....	2
2	人権問題全般について.....	4
3	女性の人権について.....	10
4	子どもの人権について.....	15
5	高齢者の人権について.....	22
6	障がいのある人の人権について.....	26
7	同和問題について.....	29
8	日本に居住する外国人の人権について.....	36
9	感染症患者等の人権について（H I V、ハンセン病等）.....	39
10	アイヌの人々の人権について.....	42
11	刑を終えて出所した人の人権について.....	43
12	インターネット等による人権について.....	45
13	今後の人権教育啓発について.....	48



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

「関市人権教育・啓発に関する基本計画」の策定の基礎資料として、調査を実施しました。

## 2 調査対象

関市在住の20歳以上の市民から無作為抽出

## 3 調査期間

平成28年5月13日から平成28年5月31日

## 4 調査方法

郵送による配布・回収

## 5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
2,000通	759通	38.0%

## 6 調査結果の表示方法

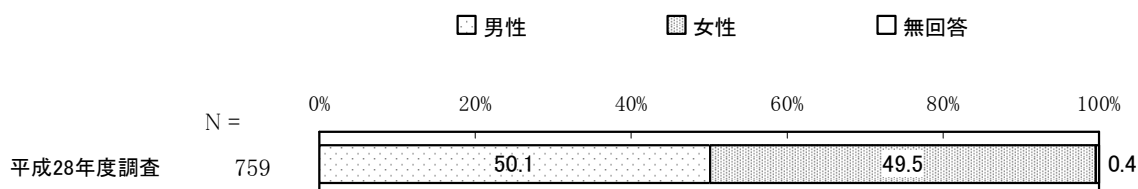
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

## II 調査の結果

### 1 回答者属性

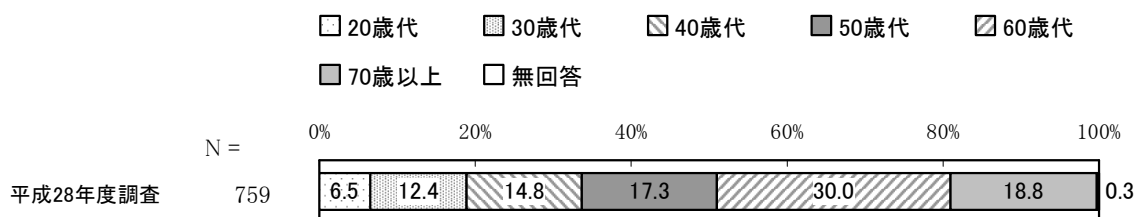
#### 問1 あなたの性別は？

「男性」の割合が50.1%、「女性」の割合が49.5%となっています。



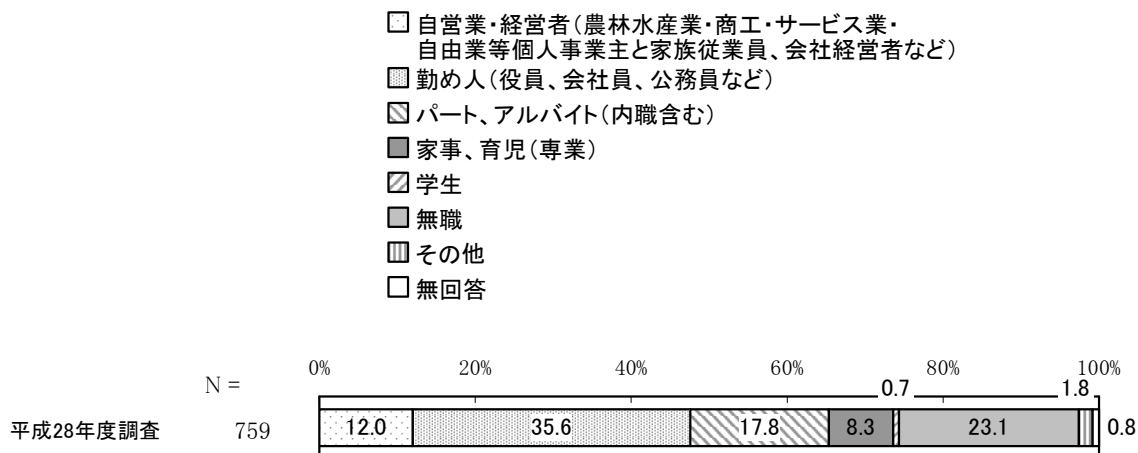
#### 問2 あなたの年齢は？

「60歳代」の割合が30.0%と最も高く、次いで「70歳以上」の割合が18.8%、「50歳代」の割合が17.3%となっています。



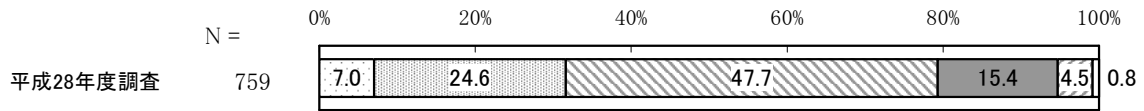
#### 問3 あなたの職業は？（1つだけ）

「勤め人（役員、会社員、公務員など）」の割合が35.6%と最も高く、次いで「無職」の割合が23.1%、「パート、アルバイト（内職含む）」の割合が17.8%となっています。



#### 問4 あなたの家族構成は？（1つだけ）

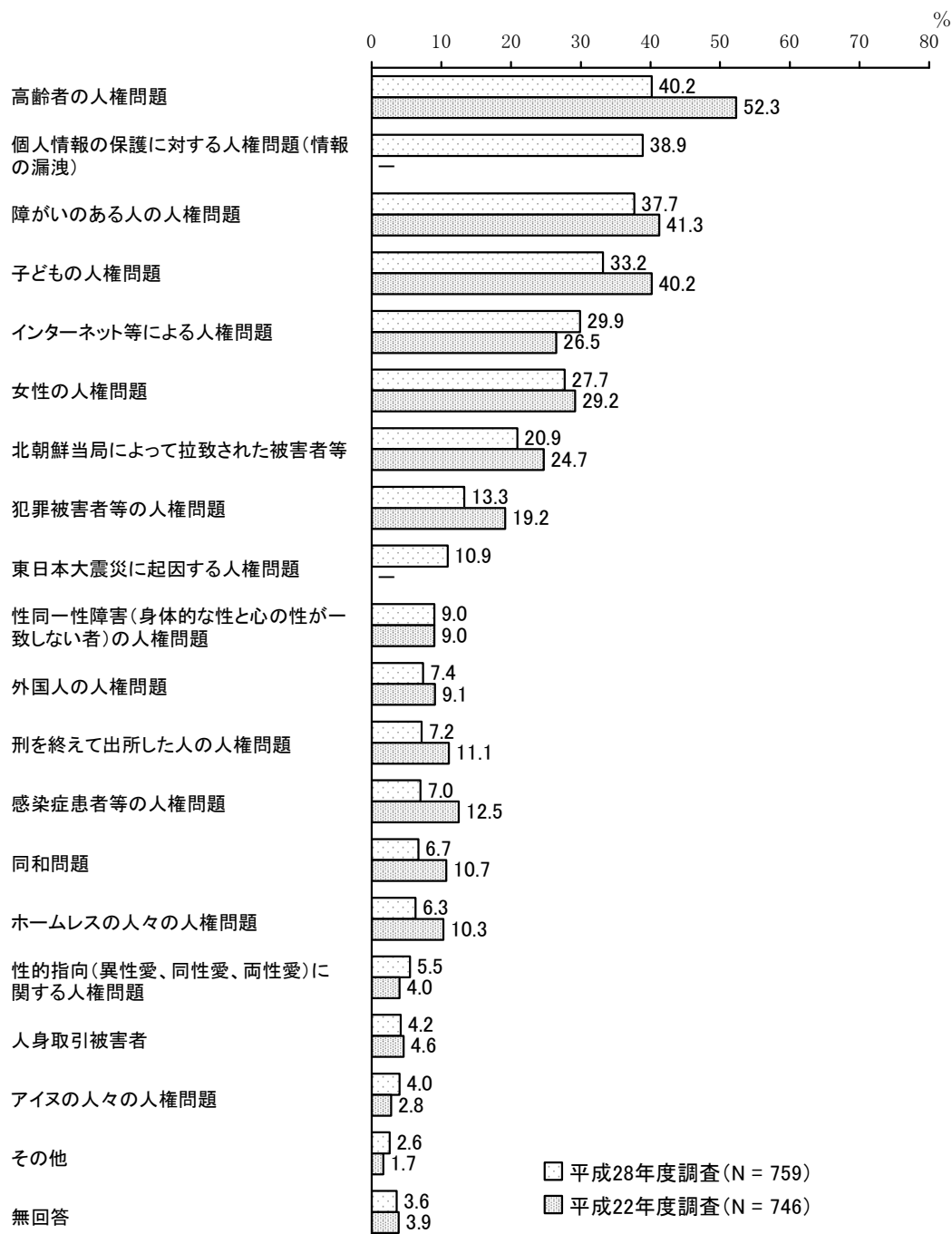
「二世世代世帯（親とその子ども）」の割合が47.7%と最も高く、次いで「一世代世帯（夫婦のみ）」の割合が24.6%、「三世世代世帯（祖父・祖母と親とその子ども）」の割合が15.4%となっています。



## 2 人権問題全般について

問5 日本の社会にはいろいろな人権問題がありますが、次のうち、あなたが関心を持っている問題は何ですか。(いくつでも)

「高齢者の人権問題」の割合が40.2%と最も高く、次いで「個人情報の保護に対する人権問題(情報の漏洩)」の割合が38.9%、「障がいのある人の人権問題」の割合が37.7%となっています。



※平成22年度調査には、「個人情報の保護に対する人権問題(情報の漏洩)」「東日本大震災に起因する人権問題」の選択肢はありませんでした。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	女性の 人権問題	子ども の人権問題	高齢者 の人権問題	障がい のある 人の 人権 問題	同和 問題	外国人 の人権 問題	感染 症患者 等の 人権 問題	アイヌ の人々 の人権 問題	刑を終 えて出 所した 人の 人権 問題	犯罪 被害者 等の 人権 問題
男性	380	16.1	30.0	36.8	38.4	8.7	8.2	6.8	5.5	8.2	15.3
女性	376	39.4	36.7	43.6	37.0	4.8	6.6	6.9	2.4	6.4	11.4

区分	インタ ーネット 等によ る 人権 問題	ホーム レスの 人々の 人権 問題	性同一 性障害 (身体 的性 と心の 性が一 致し ない者) の 人権 問題	性的 指向 (異性 愛、同 性愛、 両性愛) に関 する 人権 問題	北朝鮮 当局に よって 拉致さ れた被 害者等	人身 取引 被害者	東日本 大震災 に起因 する 人権 問題	個人 情報の 保護に 対する 人権 問題 (情報 の漏洩)	その他	無回答
男性	30.5	7.9	7.6	5.5	22.1	4.2	9.2	38.2	3.7	3.9
女性	29.3	4.8	10.4	5.6	19.9	4.3	12.8	39.9	1.3	3.2

【年齢別】

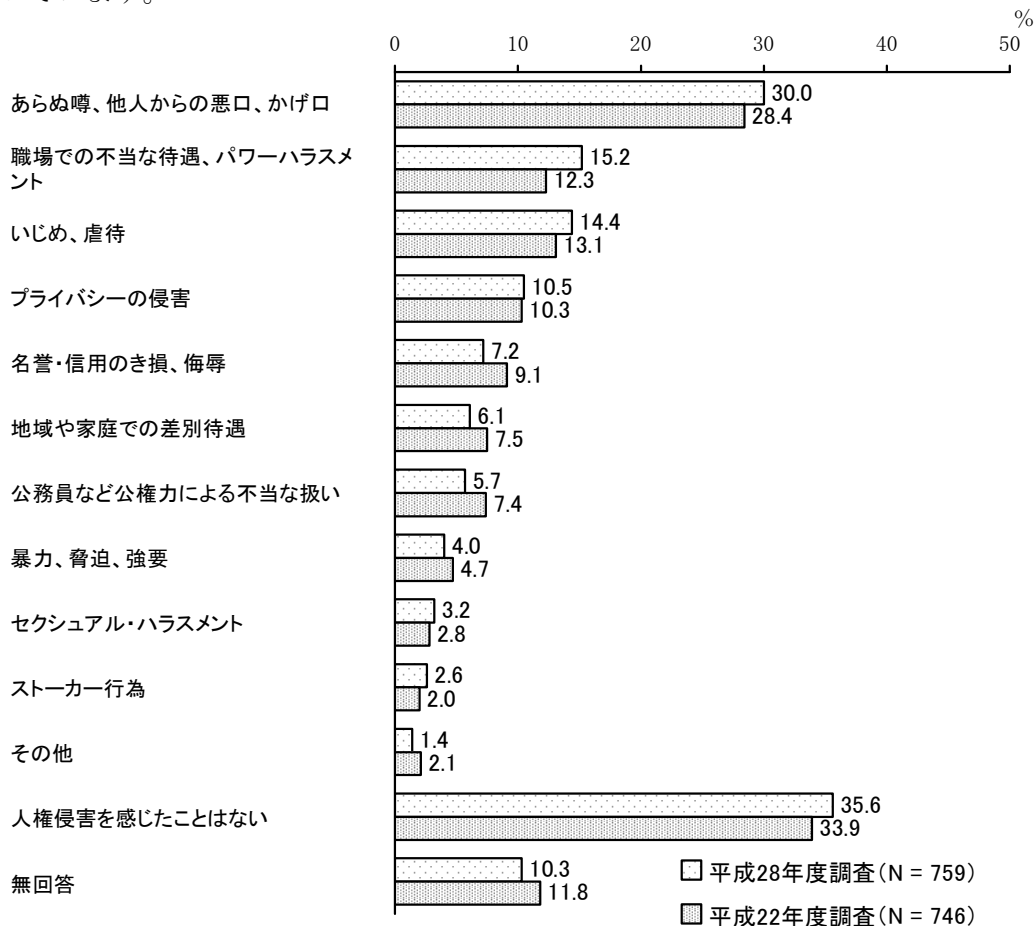
単位：%

区分	有効回答数(件)	女性の 人権問題	子ども の人権問題	高齢者 の人権問題	障がい のある 人の 人権問 題	同和 問題	外国人 の人権 問題	感染 症患者 等の 人権問 題	アイヌ の人々 の人権 問題	刑を終 えて出 所した 人の 人権問 題	犯罪被 害者等 の人権 問題
20歳代	49	28.6	24.5	18.4	38.8	4.1	16.3	10.2	2.0	6.1	12.2
30歳代	94	33.0	40.4	17.0	36.2	4.3	13.8	5.3	1.1	7.4	14.9
40歳代	112	33.9	42.0	26.8	38.4	5.4	5.4	4.5	4.5	2.7	14.3
50歳代	131	27.5	32.1	39.7	35.9	12.2	6.1	12.2	4.6	8.4	13.7
60歳代	228	28.5	32.5	50.9	37.7	5.3	4.4	5.3	4.8	7.9	13.6
70歳以上	143	17.5	27.3	57.3	39.2	7.7	7.7	7.0	4.2	9.1	11.2

区分	インタ ーネット 等による 人権問 題	ホーム レスの 人々の 人権問 題	性同一 性障害 (身体的 な性と 心の性 が一致 しない 者)の 人権問 題	性的指 向(異性 愛、同 性愛、 両性愛) に關する 人権問 題	北朝鮮 当局によ って拉致 された 被害者等	人身取 引被害者	東日本 大震災に 起因する 人権問 題	個人情報 の保護に 対する 人権問 題(情報 の漏洩)	その他	無回答
20歳代	28.6	2.0	14.3	6.1	8.2	—	10.2	32.7	2.0	4.1
30歳代	38.3	5.3	12.8	10.6	9.6	3.2	13.8	37.2	4.3	2.1
40歳代	39.3	8.0	8.9	6.3	13.4	4.5	7.1	33.9	0.9	4.5
50歳代	32.1	8.4	9.9	5.3	19.1	4.6	12.2	42.0	4.6	1.5
60歳代	26.3	6.6	8.3	4.8	26.3	4.4	11.0	44.3	1.3	2.2
70歳以上	21.0	4.9	4.9	2.8	32.2	5.6	11.2	35.0	2.8	7.7

問6 これまでに、自分や自分の家族にどのような人権侵害を感じたことがありますか。  
(いくつでも)

「人権侵害を感じたことはない」の割合が35.6%と最も高く、次いで「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」の割合が30.0%、「職場での不当な待遇、パワーハラスメント」の割合が15.2%となっています。



【性別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	名誉・信用のき損、侮辱	公務員など公権力による不当な扱い	暴力(DV)、脅迫、強要	職場での不当な待遇、パワーハラスメント	プライバシーの侵害	地域や家庭での差別待遇	セクシュアル・ハラスメント	ストーカー行為	いじめ、虐待	その他	人権侵害を感じたことはない	無回答
男性	380	27.1	7.4	7.1	2.9	14.7	11.1	5.0	0.5	0.8	10.8	1.1	39.7	8.9
女性	376	32.7	7.2	4.3	5.1	15.4	10.1	6.9	5.9	4.5	18.1	1.6	31.6	11.7

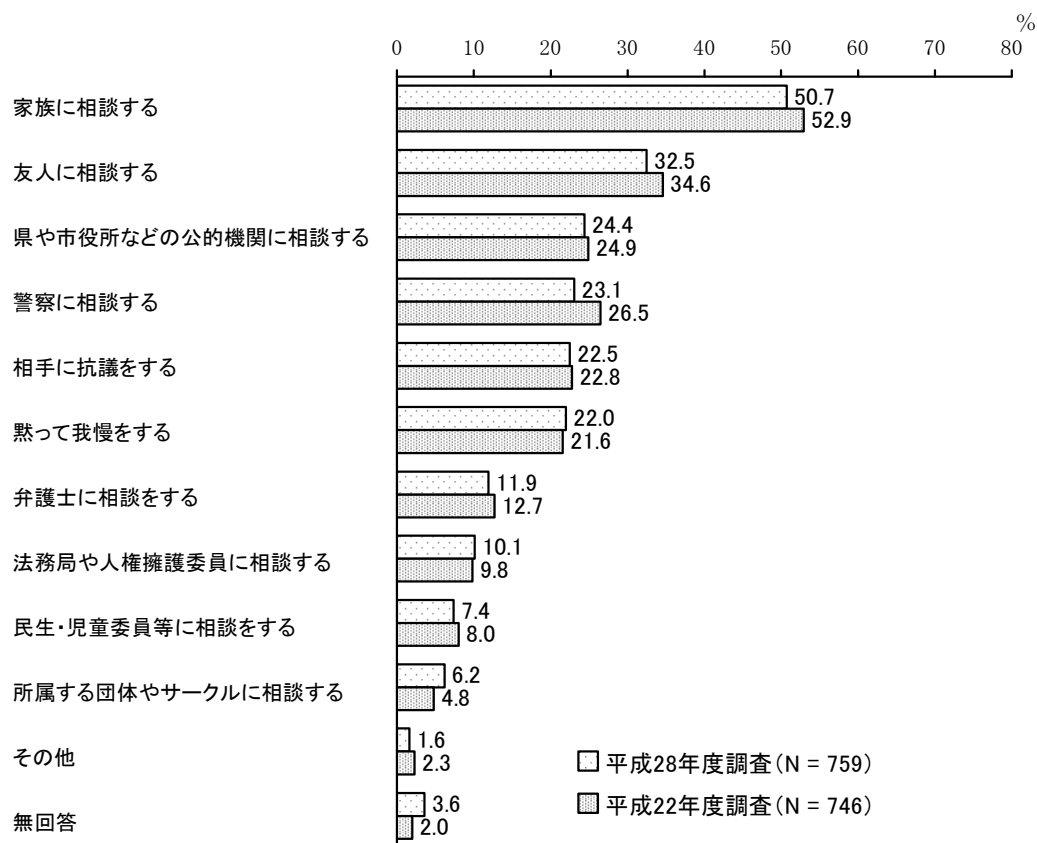
【年齢別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	名誉・信用のき損、侮辱	公務員など公権力による不当な扱い	暴力(DV)、脅迫、強要	職場での不当な待遇、パワーハラスメント	プライバシーの侵害	地域や家庭での差別待遇	セクシュアル・ハラスメント	ストーカー行為	いじめ、虐待	その他	人権侵害を感じたことはない	無回答
20歳代	49	34.7	6.1	2.0	2.0	26.5	14.3	2.0	8.2	2.0	22.4	—	36.7	—
30歳代	94	36.2	6.4	8.5	6.4	20.2	19.1	2.1	10.6	8.5	13.8	—	34.0	2.1
40歳代	112	33.0	8.9	6.3	6.3	22.3	7.1	5.4	1.8	4.5	22.3	4.5	30.4	10.7
50歳代	131	36.6	8.4	3.1	3.8	16.8	11.5	7.6	2.3	3.1	18.3	1.5	30.5	6.1
60歳代	228	23.2	6.6	7.0	2.2	10.5	9.2	8.3	1.3	0.9	9.6	0.9	43.4	11.8
70歳以上	143	26.6	7.0	4.9	4.2	7.7	7.7	5.6	1.4	—	9.8	0.7	32.9	20.3

問7 もしも人権侵害を受けた場合、どのような対応をしますか。(いくつでも)

「家族に相談する」の割合が50.7%と最も高く、次いで「友人に相談する」の割合が32.5%、「県や市役所などの公的機関に相談する」の割合が24.4%となっています。



【性別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	黙って我慢をする	相手に抗議をする	家族に相談する	友人に相談する	所属する団体やサークルに相談する	民生・児童委員等に相談をする	弁護士に相談をする	法務局や人権擁護委員に相談する	県や市役所などの公的機関に相談する	警察に相談する	その他	無回答
男性	380	21.6	30.3	36.3	21.6	5.5	7.9	16.8	13.9	30.8	30.0	1.6	3.4
女性	376	22.6	14.6	65.7	43.6	6.9	6.6	6.9	6.4	18.1	16.2	1.3	3.7

【年齢別】

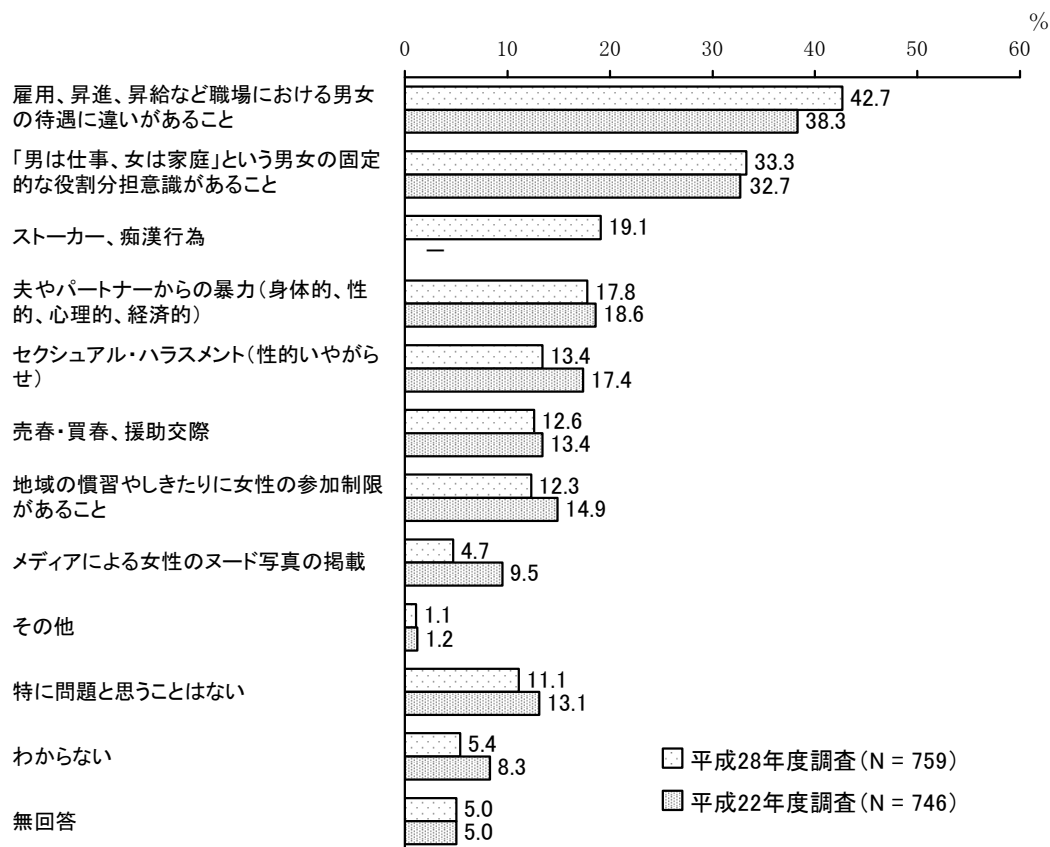
単位：％

区分	有効回答数 (件)	黙って我慢をする	相手に抗議をする	家族に相談する	友人に相談する	所属する団体やサークルに相談する	民生・児童委員等に相談をする	弁護士に相談をする	法務局や人権擁護委員に相談する	県や市役所などの公的機関に相談する	警察に相談する	その他	無回答
20歳代	49	32.7	18.4	53.1	46.9	4.1	2.0	4.1	2.0	8.2	14.3	2.0	2.0
30歳代	94	26.6	25.5	64.9	40.4	8.5	2.1	11.7	1.1	14.9	22.3	1.1	—
40歳代	112	22.3	22.3	48.2	33.9	8.9	4.5	14.3	11.6	19.6	17.9	2.7	3.6
50歳代	131	21.4	29.0	49.6	35.9	6.9	3.8	13.7	10.7	24.4	24.4	1.5	2.3
60歳代	228	21.9	21.5	47.4	27.2	4.4	9.6	13.6	13.2	29.8	25.9	0.9	4.4
70歳以上	143	16.1	17.5	49.7	26.6	5.6	14.7	8.4	12.6	31.5	25.2	1.4	6.3

### 3 女性の人権について

問8 次にあげるもののうち、女性の人権について特に問題があると思われることは何ですか。(3つまで)

「雇用、昇進、昇給など職場における男女の待遇に違いがあること」の割合が42.7%と最も高く、次いで「男は仕事、女は家庭」という男女の固定的な役割分担意識があること」の割合が33.3%、「ストーカー、痴漢行為」の割合が19.1%となっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	「男は仕事、女は家庭」という男女の固定的な役割分担意識があること	雇用、昇進、昇給など職場における男女の待遇に違いがあること	夫やパートナーからの暴力（身体的、性的、心理的、経済的）	セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）	ストーカー、痴漢行為	売春・買春、援助交際	真の掲載	メディアによる女性のヌード写真の掲載	地域の慣習やしきたりに女性の参加制限があること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	380	29.5	42.1	17.1	14.7	19.2	11.3	4.2	11.1	1.8	10.5	6.1	6.6	
女性	376	37.5	43.4	18.6	12.0	19.1	14.1	5.3	13.6	0.3	11.4	4.5	3.5	

【年齢別】

単位：%

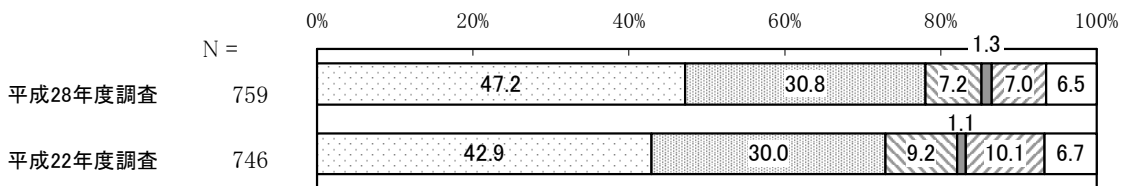
区分	有効回答数（件）	「男は仕事、女は家庭」という男女の固定的な役割分担意識があること	雇用、昇進、昇給など職場における男女の待遇に違いがあること	夫やパートナーからの暴力（身体的、性的、心理的、経済的）	セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）	ストーカー、痴漢行為	売春・買春、援助交際	真の掲載	メディアによる女性のヌード写真の掲載	地域の慣習やしきたりに女性の参加制限があること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
20歳代	49	32.7	49.0	20.4	16.3	22.4	18.4	2.0	6.1	—	6.1	4.1	6.1	
30歳代	94	35.1	52.1	21.3	14.9	14.9	7.4	4.3	12.8	2.1	10.6	4.3	2.1	
40歳代	112	42.0	48.2	17.9	14.3	25.0	9.8	0.9	13.4	—	6.3	5.4	1.8	
50歳代	131	29.8	45.0	23.7	20.6	26.7	17.6	5.3	15.3	—	6.9	3.1	3.1	
60歳代	228	34.6	42.5	16.2	13.2	19.7	14.0	6.1	9.6	0.9	11.8	4.4	4.4	
70歳以上	143	27.3	28.0	11.9	4.2	8.4	9.8	6.3	14.7	2.8	18.9	10.5	11.9	



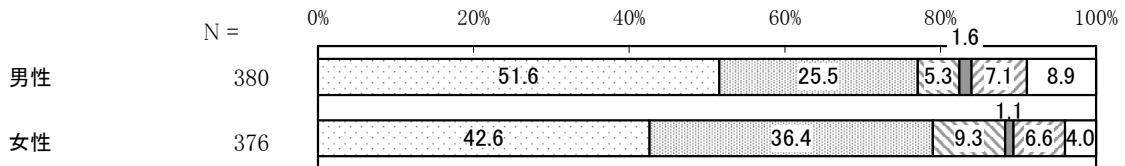
問9 あなたは、家庭や地域、あるいは職場において、「女のくせに」と言われたり、「女性だから」ということで不利な扱いを受けたりする機会があることについて、どう考えますか。(1つだけ)

「女性だからといって差別するようなことは、なくすべきである」の割合が47.2%と最も高く、次いで「女性差別はよくないが、少しずつ改善していけばよい」の割合が30.8%となっています。

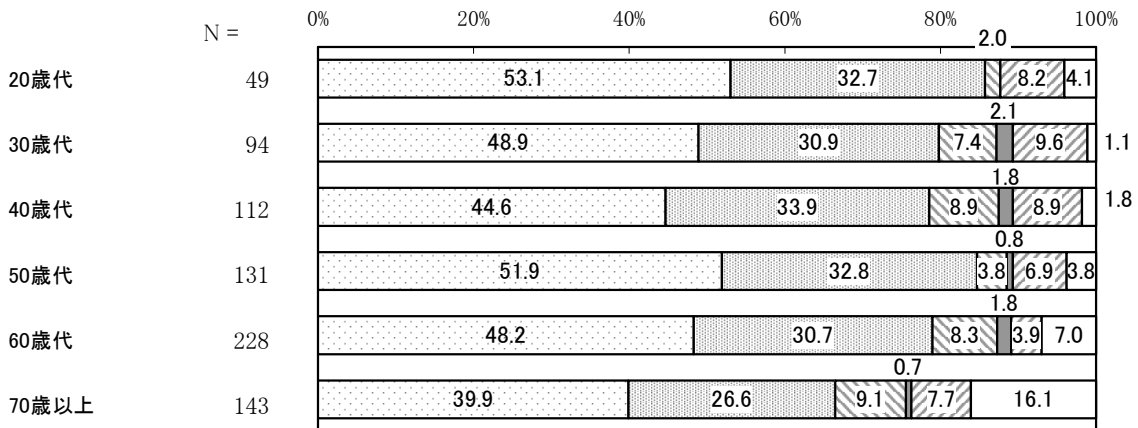
- 女性だからといって差別するようなことは、なくすべきである
- 女性差別はよくないが、少しずつ改善していけばよい
- 男性とくらべ、女性がいくらか不利な扱いを受けるのは、やむをえない
- 世の中が男性中心に動いているので、女性が不利な扱いを受けるのは当然だ
- わからない
- 無回答



【性別】

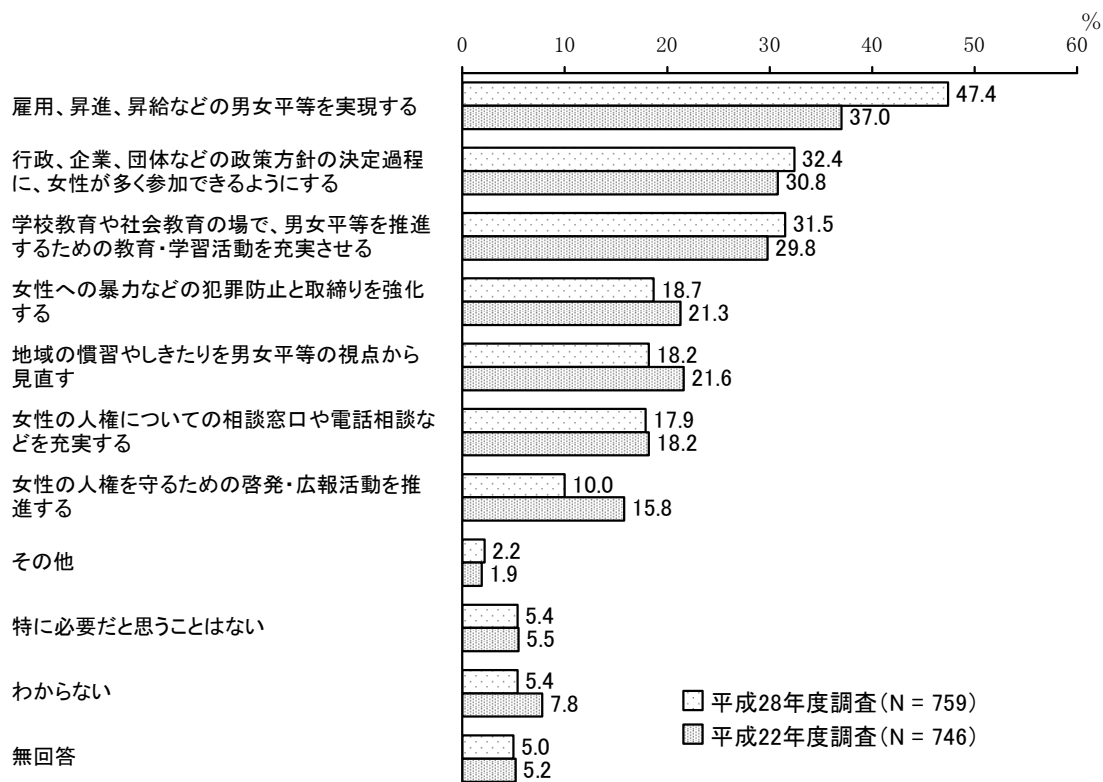


【年齢別】



問10 あなたは、女性の人権を守るのに必要なことは、どのようなことだと思いますか。  
(3つまで)

「雇用、昇進、昇給などの男女平等を実現する」の割合が47.4%と最も高く、次いで「行政、企業、団体などの政策方針の決定過程に、女性が多く参加できるようにする」の割合が32.4%、「学校教育や社会教育の場で、男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる」の割合が31.5%となっています。



【性別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	雇用、昇進、昇給などの男女平等を実現する	女性の権利についての相談窓口や電話相談などを充実する	女性の権利を守るための啓発・広報活動を推進する	女性の権利を守るための啓発・広報活動を推進する	行政、企業、団体などの政策方針の決定過程に、女性が多く参加できるようにする	女性への暴力などの犯罪防止と取締りを強化する	学校教育や社会教育の場で、男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる	地域の慣習やしきたりを男女平等の視点から見直す	その他	特に必要だと思ふことはない	わからない	無回答
男性	380	47.1	15.0	11.3	36.3	16.8	30.3	18.4	2.6	5.3	6.1	6.3	
女性	376	47.9	20.5	8.8	28.5	20.7	33.0	18.1	1.6	5.6	4.8	3.7	

【年齢別】

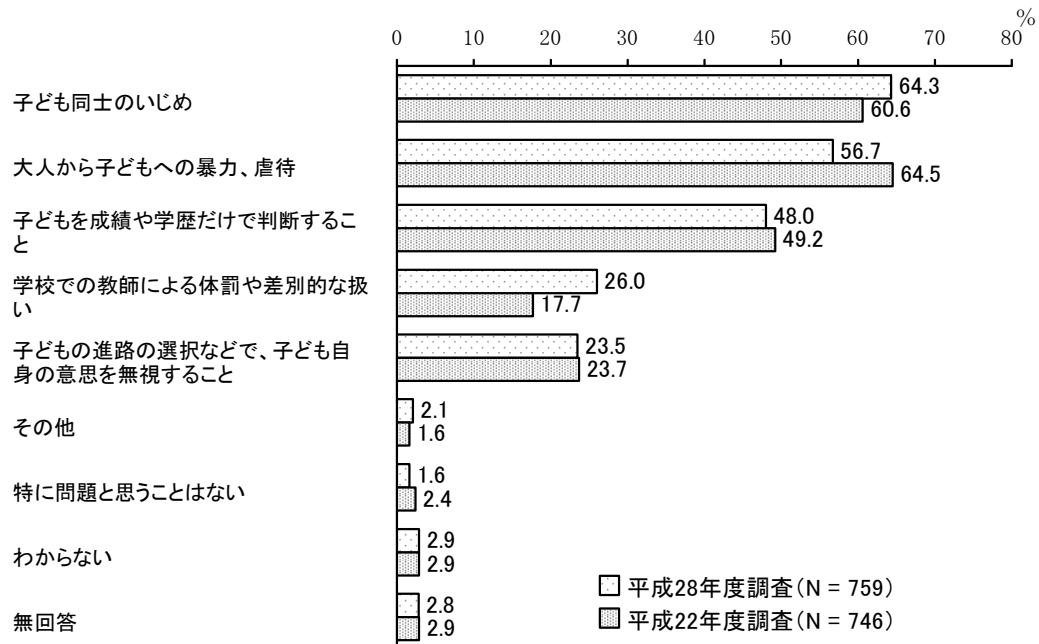
単位：％

区分	有効回答数（件）	雇用、昇進、昇給などの男女平等を実現する	女性の権利についての相談窓口や電話相談などを充実する	女性の権利を守るための啓発・広報活動を推進する	女性の権利を守るための啓発・広報活動を推進する	行政、企業、団体などの政策方針の決定過程に、女性が多く参加できるようにする	女性への暴力などの犯罪防止と取締りを強化する	学校教育や社会教育の場で、男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる	地域の慣習やしきたりを男女平等の視点から見直す	その他	特に必要だと思ふことはない	わからない	無回答
20歳代	49	67.3	18.4	8.2	22.4	24.5	34.7	18.4	4.1	2.0	4.1	2.0	
30歳代	94	48.9	8.5	7.4	33.0	23.4	28.7	22.3	5.3	2.1	8.5	1.1	
40歳代	112	56.3	17.0	8.9	29.5	20.5	27.7	20.5	1.8	2.7	2.7	2.7	
50歳代	131	51.9	20.6	9.9	33.6	22.1	32.8	19.8	2.3	4.6	3.1	3.8	
60歳代	228	45.2	19.7	11.0	39.9	14.9	34.2	14.9	1.3	8.8	5.7	4.4	
70歳以上	143	32.2	18.9	11.9	24.5	15.4	30.1	17.5	0.7	6.3	7.7	12.6	

## 4 子どもの人権について

問11 次にあげるもののうち、子どもの人権について特に問題があると思われることは何ですか。(3つまで)

「子ども同士のいじめ」の割合が64.3%と最も高く、次いで「大人から子どもへの暴力、虐待」の割合が56.7%、「子どもを成績や学歴だけで判断すること」の割合が48.0%となっています。



【性別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	子ども同士のいじめ	大人から子どもへの暴力、虐待	子どもの進路の選択などで、子ども自身の意思を無視すること	子どもを成績や学歴だけで判断すること	学校での教師による体罰や差別的な扱い	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	380	61.6	55.0	26.6	47.4	21.1	2.9	1.8	3.2	2.6
女性	376	67.0	58.5	20.5	48.7	31.1	1.1	1.3	2.7	2.9

【年齢別】

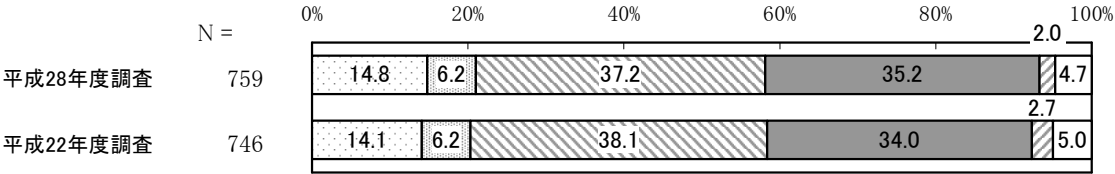
単位：％

区分	有効回答数 (件)	子ども同士のいじめ	大人から子どもへの暴力、虐待	子どもの進路の選択などで、子ども自身の意思を無視すること	子どもを成績や学歴だけで判断すること	学校での教師による体罰や差別的な扱い	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
20 歳代	49	69.4	57.1	28.6	55.1	22.4	—	—	4.1	2.0
30 歳代	94	64.9	66.0	23.4	42.6	34.0	2.1	1.1	4.3	1.1
40 歳代	112	71.4	57.1	17.0	36.6	26.8	0.9	1.8	3.6	3.6
50 歳代	131	71.8	61.8	18.3	42.7	28.2	3.1	0.8	1.5	2.3
60 歳代	228	64.0	53.1	24.6	53.5	21.9	2.2	1.3	2.2	1.8
70 歳以上	143	50.3	51.0	30.1	54.5	25.9	2.1	3.5	3.5	5.6

問12 子どもたち同士の「いじめ」によって仲間はずれにされたり、時には自殺にまで追いやられたりする事例も起きています。あなたは、「いじめ」について、どう考えますか。(1つだけ)

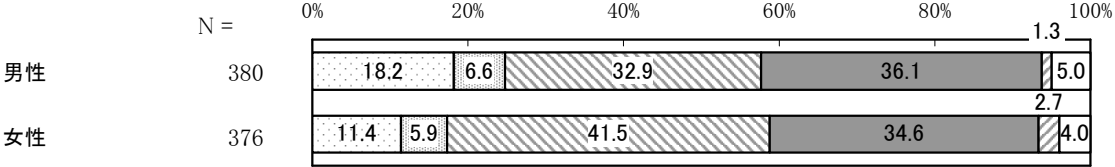
「いじめ」は、人の心やからだを傷つける行為であり、やめたほうがよい」の割合が37.2%と最も高く、次いで「いじめ」は、人権侵害であり、許されない」の割合が35.2%、「ひどい「いじめ」はよくないが、ささいなことなら気にしないほうがよい」の割合が14.8%となっています。

- ひどい「いじめ」はよくないが、ささいなことなら気にしないほうがよい
- 「いじめ」を受ける子どもにも原因がある
- 「いじめ」は、人の心やからだを傷つける行為であり、やめたほうがよい
- 「いじめ」は、人権侵害であり、許されない
- わからない
- 無回答



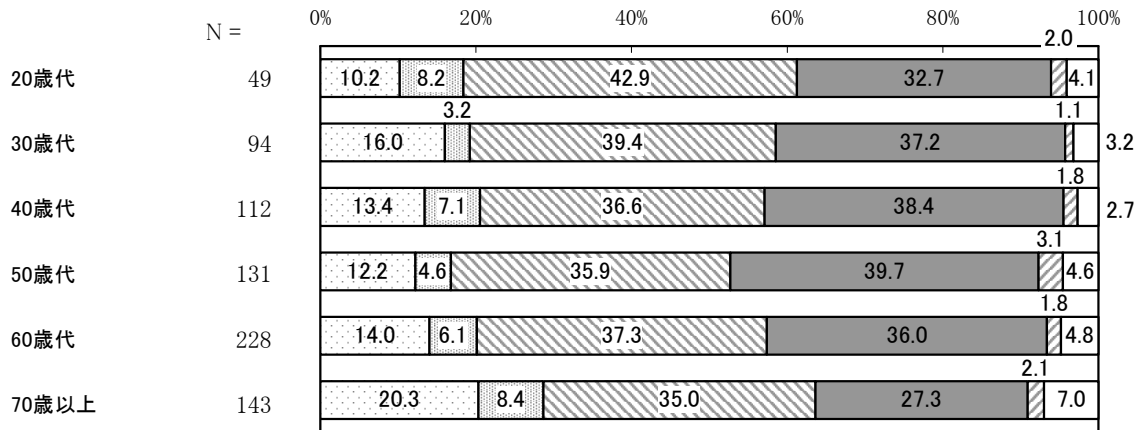
※平成22年度調査では、「いじめ」は、人権侵害であり、許されない」の選択肢は「いじめ」は、人間として恥ずかしい行為であり、許されない」でした。

【性別】



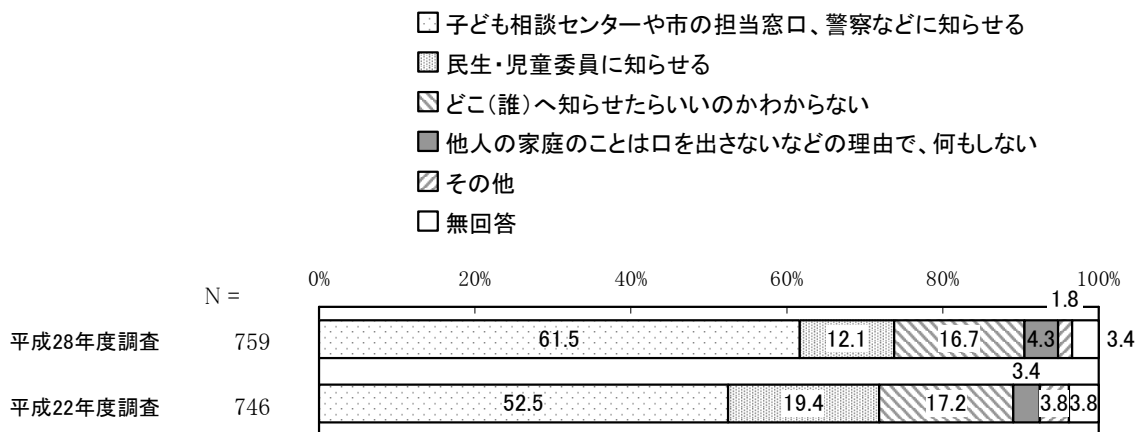
【年齢別】

- ひどい「いじめ」はよくないが、ささいなことなら気にしないほうがよい
- 「いじめ」を受ける子どもにも原因がある
- 「いじめ」は、人の心やからだを傷つける行為であり、やめたほうがよい
- 「いじめ」は、人権侵害であり、許されない
- わからない
- 無回答

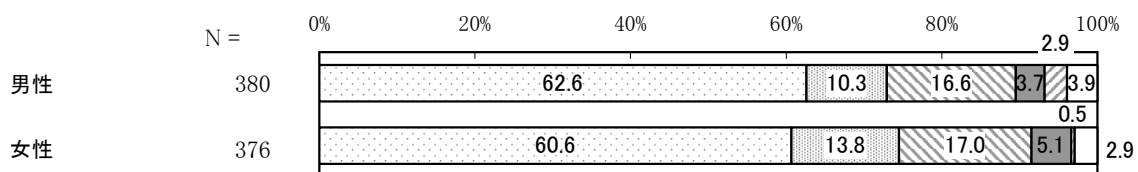


**問 13 あなたは、児童虐待を発見したらどうされますか。(1つだけ)**

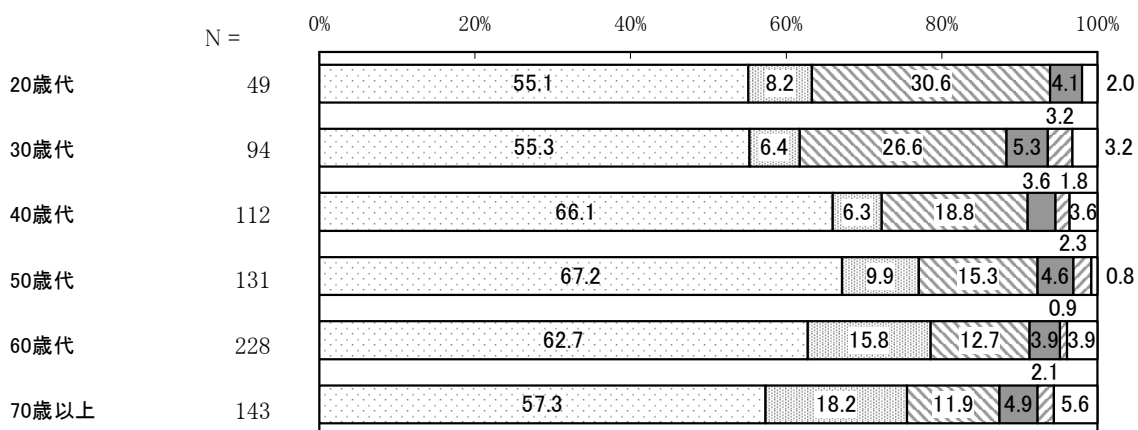
「子ども相談センターや市の担当窓口、警察などに知らせる」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「どこ(誰)へ知らせたらいいのかわからない」の割合が 16.7%、「民生・児童委員に知らせる」の割合が 12.1%となっています。



**【性別】**



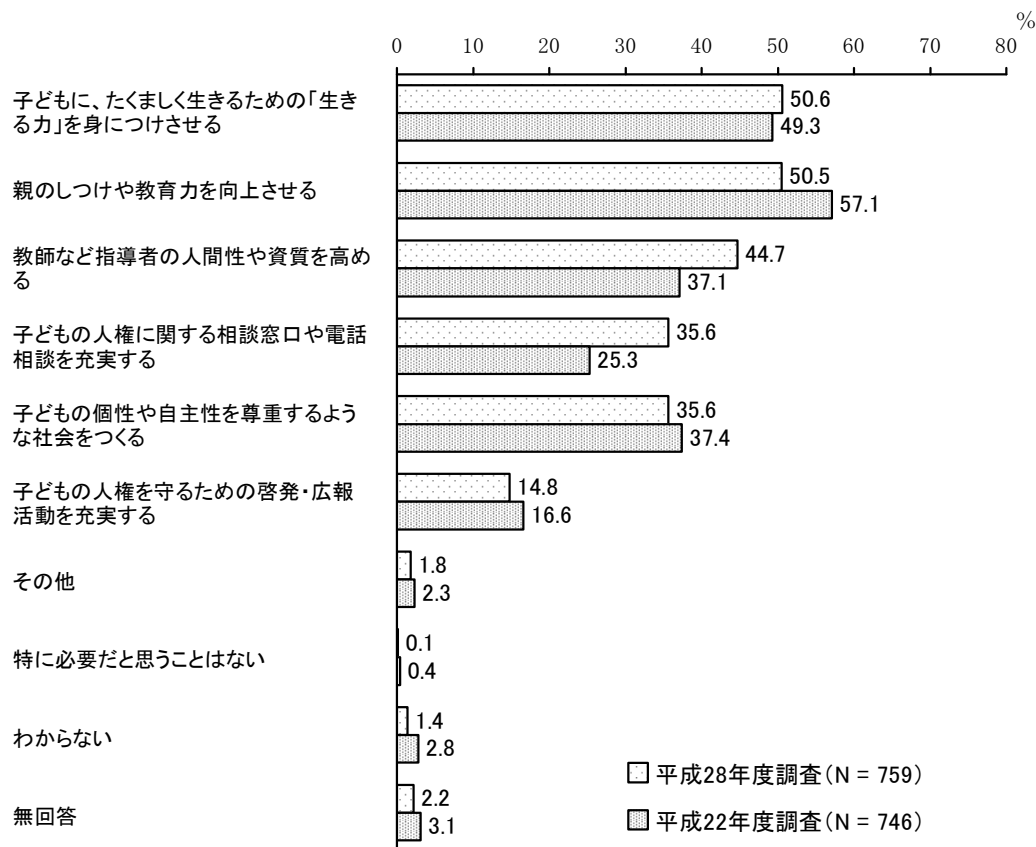
**【年齢別】**





問 14 あなたは、子どもの人権を守るのに必要なことは、どのようなことだと思いますか。(3つまで)

「子どもに、たくましく生きるための「生きる力」を身につけさせる」の割合が50.6%と最も高く、次いで「親のしつけや教育力を向上させる」の割合が50.5%、「教師など指導者の人間性や資質を高める」の割合が44.7%となっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	子どもに、たくましく生きるための「生きる力」を身につけさせる	親のしつけや教育力を向上させる	教師など指導者の人間性や資質を高める	子どもの人権に関する相談窓口や電話相談を充実する	子どもの個性や自主性を尊重するような社会をつくる	子どもの人権を守るための啓発・広報活動を充実する	その他	特に必要だと思うことはない	わからない	無回答
男性	380	36.6	15.3	32.9	56.6	42.6	45.3	2.1	0.3	1.1	2.4
女性	376	34.6	14.4	38.3	44.7	47.1	55.9	1.6	—	1.9	1.9

【年齢別】

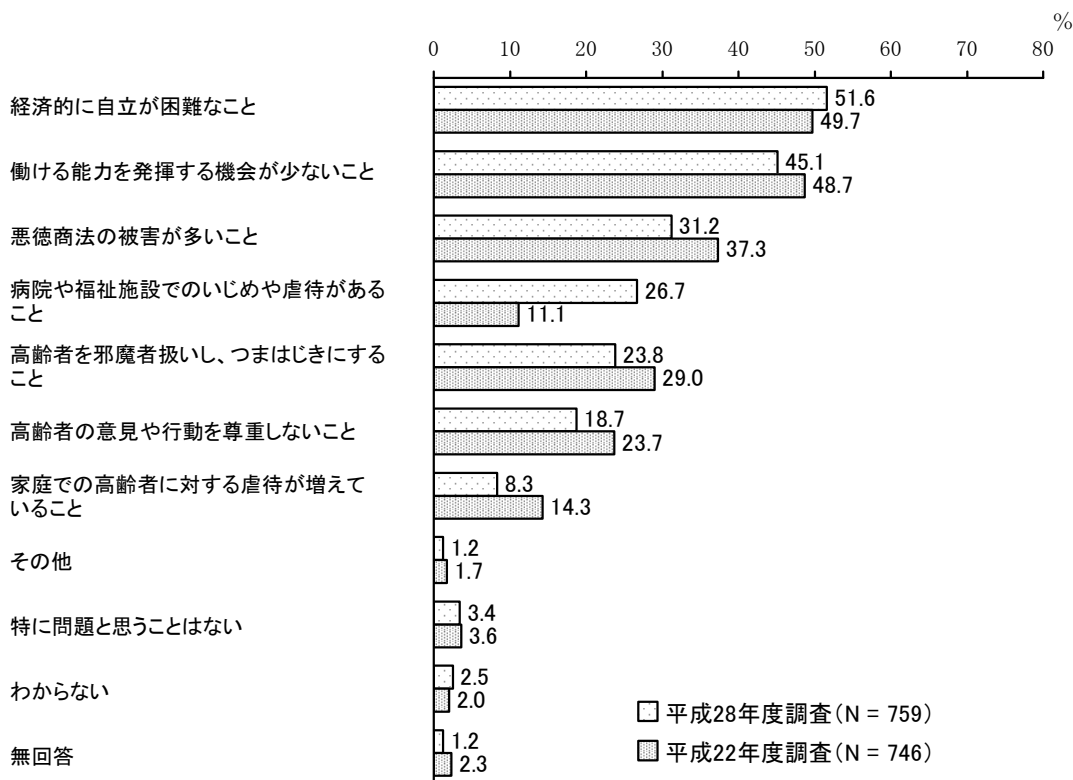
単位：%

区分	有効回答数 (件)	子どもの人権に関する啓発・広報活動を充実する	子どもの人権に関する啓発・広報活動を充実する	子どもの人権を守るための啓発・広報活動を充実する	子どもの人権に関する啓発・広報活動を充実する	子どもの個性や自主性を尊重するような社会をつくる	子どもの個性や自主性を尊重する	親のしつけや教育力を向上させる	教師など指導者の人間性や資質を高める	子どもに、たくましく生きるための「生きる力」を身につけさせる	その他	特に必要だと思わない	わからない	無回答
20 歳代	49	36.7	12.2	51.0	46.9	30.6	46.9	2.0	—	—	—	—	—	4.1
30 歳代	94	25.5	12.8	34.0	52.1	40.4	54.3	5.3	—	—	—	—	5.3	1.1
40 歳代	112	30.4	14.3	31.3	51.8	46.4	56.3	2.7	—	—	—	—	1.8	1.8
50 歳代	131	47.3	15.3	31.3	53.4	45.8	45.0	—	—	—	—	—	0.8	—
60 歳代	228	36.4	16.2	38.6	51.3	46.1	50.4	1.8	—	—	—	—	0.9	1.8
70 歳以上	143	33.6	14.7	33.6	46.2	48.3	49.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	5.6

## 5 高齢者の人権について

問 15 次にあげるもののうち、高齢者の人権について特に問題があると思われることは何ですか。(3つまで)

「経済的に自立が困難なこと」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「働ける能力を發揮する機会が少ないこと」の割合が 45.1%、「悪徳商法の被害が多いこと」の割合が 31.2%となっています。



※平成 22 年度調査では、「病院や福祉施設でのいじめや虐待があること」の選択肢は「病院での看護や養護施設での扱いが悪いこと」でした、

### 【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	経済的に自立が困難なこと	働ける能力を發揮する機会が少ないこと	悪徳商法の被害が多いこと	家庭での高齢者に対する虐待が増えていること	病院や福祉施設でのいじめや虐待があること	高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	380	53.7	46.8	32.9	8.4	21.6	23.7	18.2	0.8	3.9	1.6	1.1
女性	376	49.5	43.6	29.5	8.2	31.9	24.2	19.4	1.3	2.9	3.5	1.3

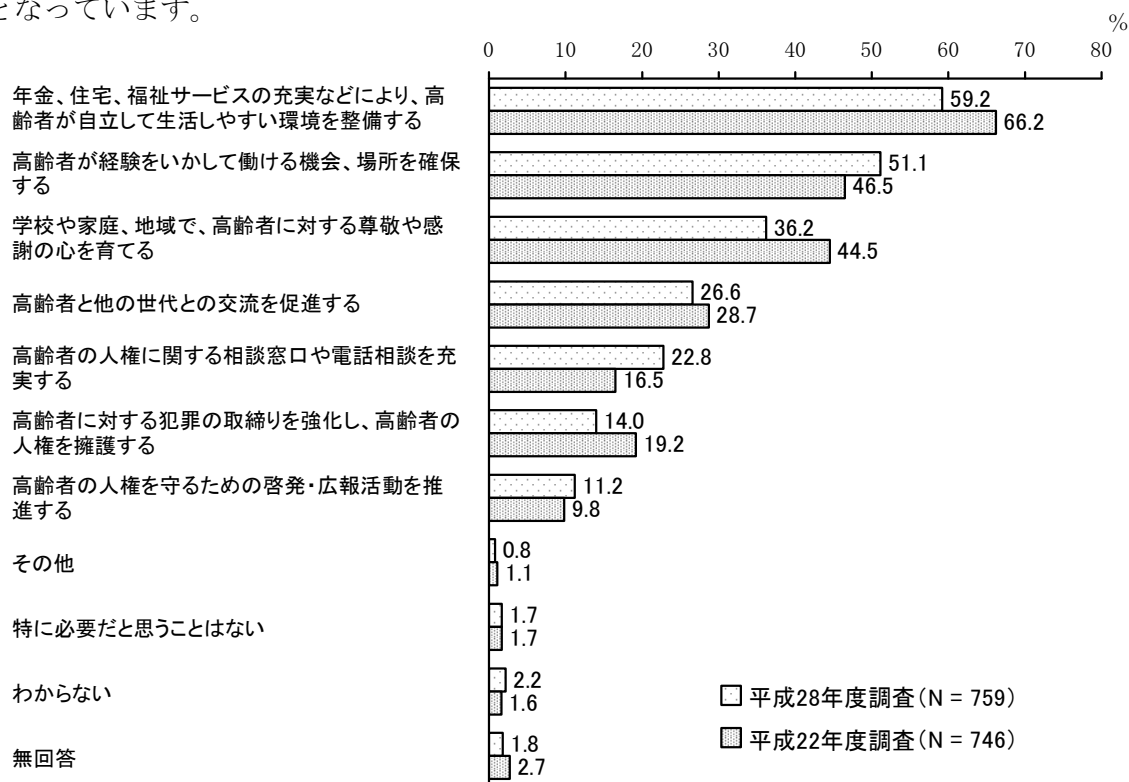
【年齢別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	経済的に自立が困難なこと	働ける能力を發揮する機会が少ないこと	悪徳商法の被害が多いこと	家庭での高齢者に対する虐待が増えていること	あること 病院や福祉施設でのいじめや虐待があること	高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
20歳代	49	42.9	46.9	26.5	22.4	24.5	20.4	16.3	4.1	4.1	—	2.0
30歳代	94	43.6	38.3	36.2	7.4	37.2	23.4	14.9	1.1	3.2	5.3	1.1
40歳代	112	58.9	49.1	34.8	5.4	23.2	15.2	9.8	0.9	1.8	3.6	2.7
50歳代	131	51.9	50.4	37.4	6.1	26.0	30.5	13.0	0.8	3.1	3.1	—
60歳代	228	55.7	45.2	28.1	9.2	25.9	27.2	24.1	0.4	3.9	1.3	—
70歳以上	143	47.6	41.3	25.9	7.0	25.2	21.0	25.9	1.4	4.2	2.1	2.8

問 16 あなたは、高齢者の人権を守るのに必要なことは、どのようなことだと思いますか。(3つまで)

「年金、住宅、福祉サービスの充実などにより、高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する」の割合が59.2%と最も高く、次いで「高齢者が経験をいかして働ける機会、場所を確保する」の割合が51.1%、「学校や家庭、地域で、高齢者に対する尊敬や感謝の心を育てる」の割合が36.2%となっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	高齢者の人権に関する相談窓口や電話相談を充実する	高齢者の人権を守るための啓発・広報活動を推進する	年金、住宅、福祉サービスの充実などにより、高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する	高齢者が経験をいかして働ける機会、場所を確保する	高齢者に対する犯罪の取締りを強化し、高齢者の人権を擁護する	学校や家庭、地域で、高齢者に対する尊敬や感謝の心を育てる	高齢者和其他の世代との交流を促進する	その他	特に必要だと思うことはない	わからない	無回答
男性	380	22.1	12.4	60.5	51.8	15.3	33.9	25.5	0.8	1.8	1.8	1.8
女性	376	23.4	10.1	58.0	50.5	12.8	38.6	27.9	0.5	1.6	2.7	1.9

【年齢別】

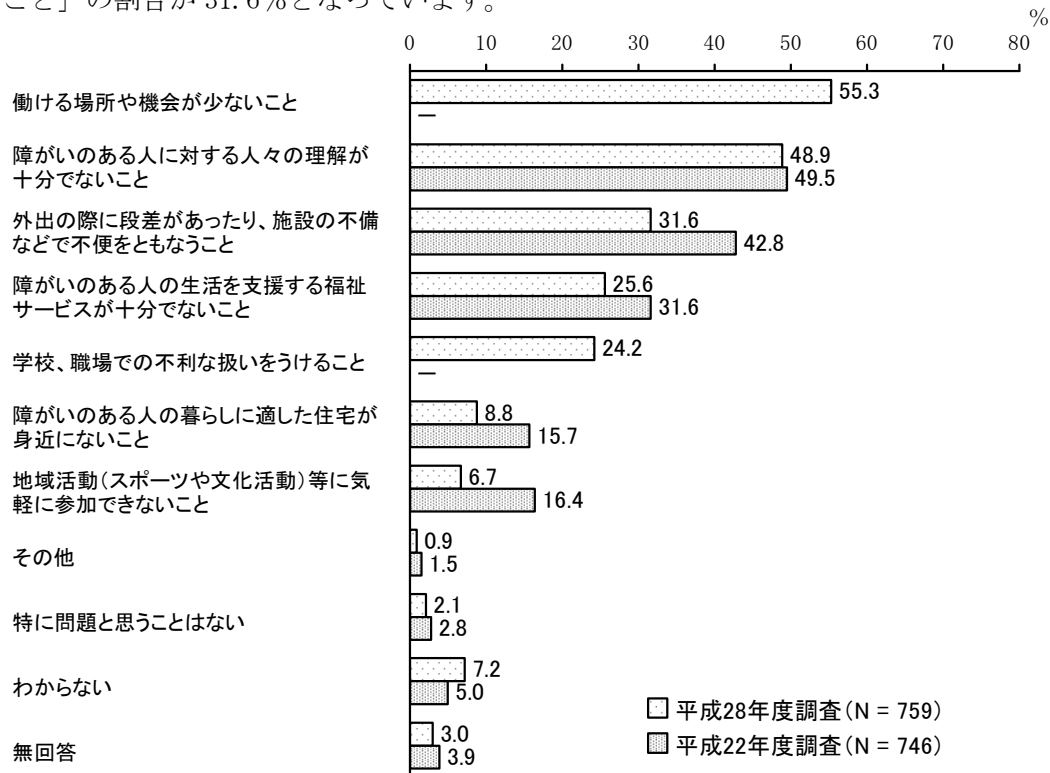
単位：%

区分	有効回答数 (件)	高齢者の人権に関する相談窓口 や電話相談を充実する	高齢者の人権を守るための啓 発・広報活動を推進する	活しやすい環境を整備する	年金、住宅、福祉サービスの充実 などにより、高齢者が自立して生 活しやすい環境を整備する	高齢者が経験をいかして働ける 機会、場所を確保する	高齢者に対する犯罪の取締りを 強化し、高齢者の人権を擁護する	学校や家庭、地域で、高齢者に対 する尊敬や感謝の心を育てる	高齢者と他の世代との交流を促 進する	その他	特に必要だと思ふことはない	わからない	無回答
20歳代	49	20.4	12.2	51.0	44.9	14.3	32.7	36.7	2.0	4.1	2.0	2.0	
30歳代	94	13.8	8.5	51.1	48.9	20.2	41.5	30.9	—	1.1	6.4	—	
40歳代	112	17.9	8.9	44.6	63.4	9.8	30.4	29.5	0.9	—	5.4	2.7	
50歳代	131	23.7	9.2	62.6	55.7	15.3	32.1	27.5	0.8	2.3	1.5	—	
60歳代	228	27.2	16.2	65.8	48.2	14.0	37.7	22.4	0.4	2.2	0.9	0.9	
70歳以上	143	25.2	8.4	65.7	45.5	11.9	39.9	24.5	0.7	1.4	—	5.6	

## 6 障がいのある人の人権について

問 17 次にあげるもののうち、障がいのある人の人権について特に問題があると思われることは何ですか。(3つまで)

「働ける場所や機会が少ないこと」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと」の割合が 48.9%、「外出の際に段差があったり、施設の不備などで不便をとまうこと」の割合が 31.6%となっています。



### 【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	働ける場所や機会が少ないこと	障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと	外出の際に段差があったり、施設の不備などで不便をとまうこと	障がいのある人の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと	学校、職場での不利な扱いを受けること	障がいのある人の暮らしに適した住宅が身近にないこと	地域活動(スポーツや文化活動)等に気軽に参加できないこと	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	380	58.7	48.4	28.2	25.6	24.2	8.8	6.3	1.1	2.4	5.5	3.7
女性	376	52.1	49.5	23.1	31.6	24.5	8.8	7.2	0.8	1.9	8.8	2.1

【年齢別】

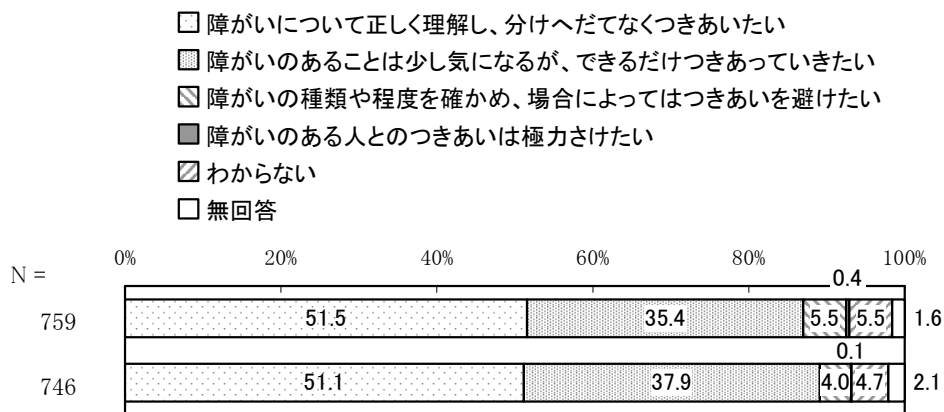
単位：%

区分	有効回答数（件）	外出の際に段差があったり、施設の不備などで不便をともなうこと	学校、職場での不利な扱いをうけること	働ける場所や機会が少ないこと	地域活動（スポーツや文化活動）等に気軽に参加できないこと	障がいのある人の暮らしに適した住宅が身近にならぬこと	障がいのある人の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと	障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
20 歳代	49	28.6	42.9	55.1	10.2	12.2	28.6	55.1	2.0	2.0	2.0	2.0
30 歳代	94	26.6	27.7	60.6	8.5	8.5	26.6	45.7	2.1	3.2	6.4	—
40 歳代	112	33.9	25.0	57.1	5.4	6.3	17.0	48.2	0.9	0.9	9.8	3.6
50 歳代	131	29.0	25.2	61.8	4.6	9.2	20.6	63.4	—	1.5	7.6	0.8
60 歳代	228	35.1	23.2	54.8	7.0	7.9	30.3	45.6	0.9	2.6	7.0	1.3
70 歳以上	143	30.8	16.1	45.5	7.0	11.2	28.0	41.3	0.7	2.1	7.0	9.8

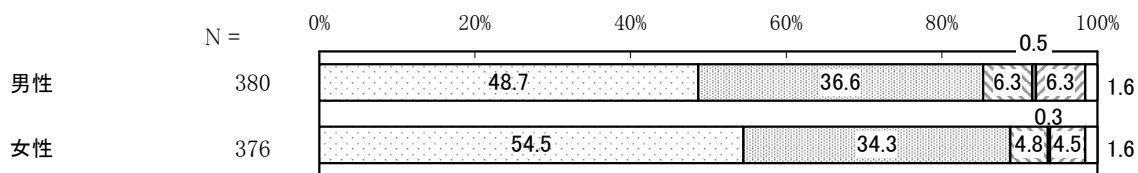


**問 18 あなたの家の隣に障がいのある人が転居してこられた場合、障がいのある人とのつきあいについて、どう考えますか。(1つだけ)**

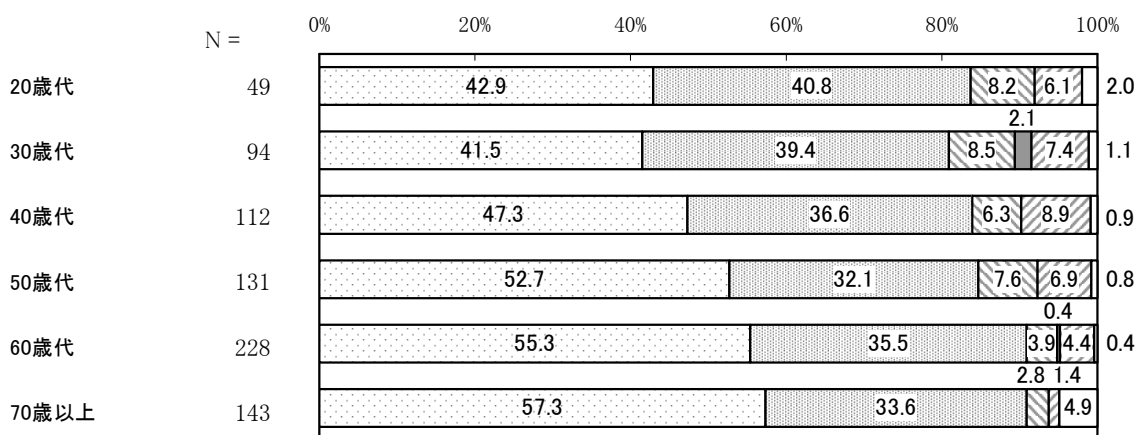
「障がいについて正しく理解し、分けへだてなくつきあいたい」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「障がいのあることは少し気になるが、できるだけつきあっていきたい」の割合が 35.4%となっています。



**【性別】**



**【年齢別】**



## 7 同和問題について

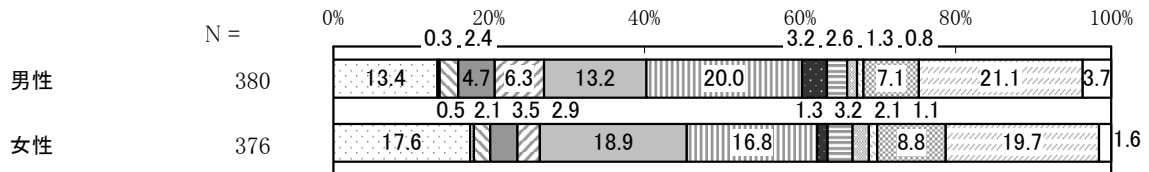
問 19 あなたが、同和問題をはじめて知ったのは、どのようなことからですか。  
(1つだけ)

「同和問題のことを知らない」の割合が 20.3%と最も高く、次いで「テレビ、ラジオ、新聞、本などから知った」の割合が 18.4%、「学校の授業で学習した」の割合が 15.9%となっています。

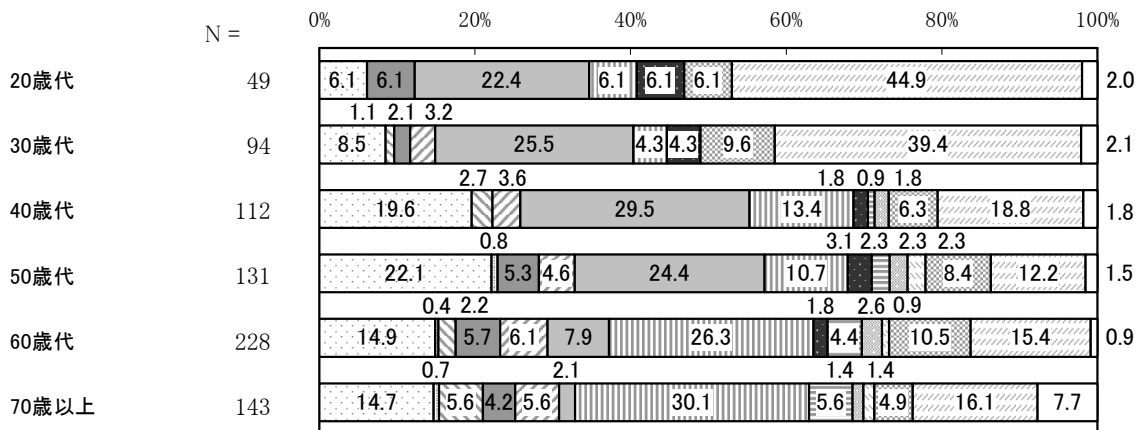
- 家族から聞いた
- ▨ 近隣の人から聞いた
- ▩ 友人や先輩から聞いた
- ▧ テレビ、ラジオ、新聞、本などから知った
- ▦ 同和問題の集会や研修会で知った
- ▤ その他
- ▣ 同和問題のことを知らない
- ▢ 親戚の人から聞いた
- 職場の人から聞いた
- 学校の授業で学習した
- ▧ インターネットなどの情報から知った
- ▦ 県や市町村の広報紙や冊子で知った
- ▤ おぼえていない
- 無回答



### 【性別】

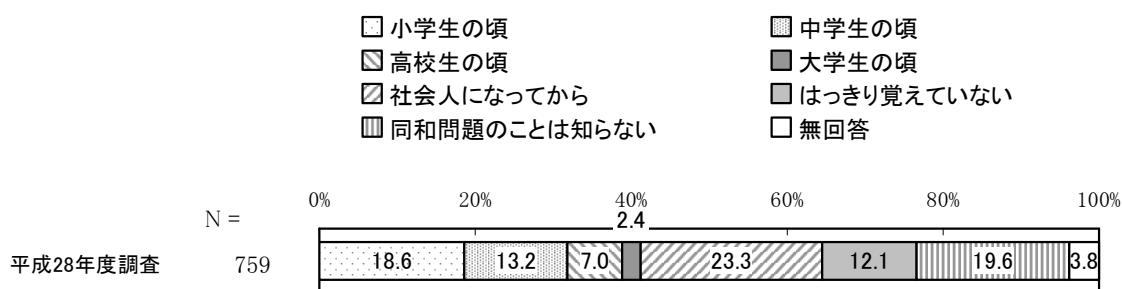


### 【年齢別】

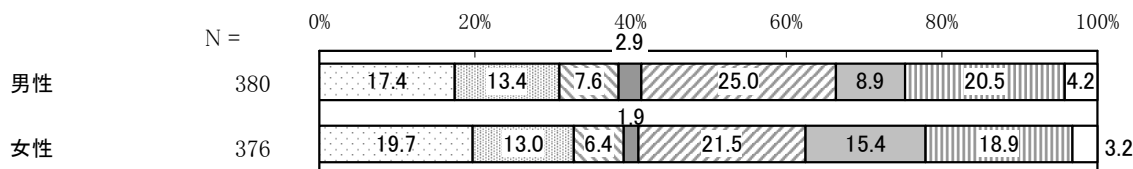


**問 20 あなたが、同和問題について、はじめて知ったのはいつ頃ですか。(1つだけ)**

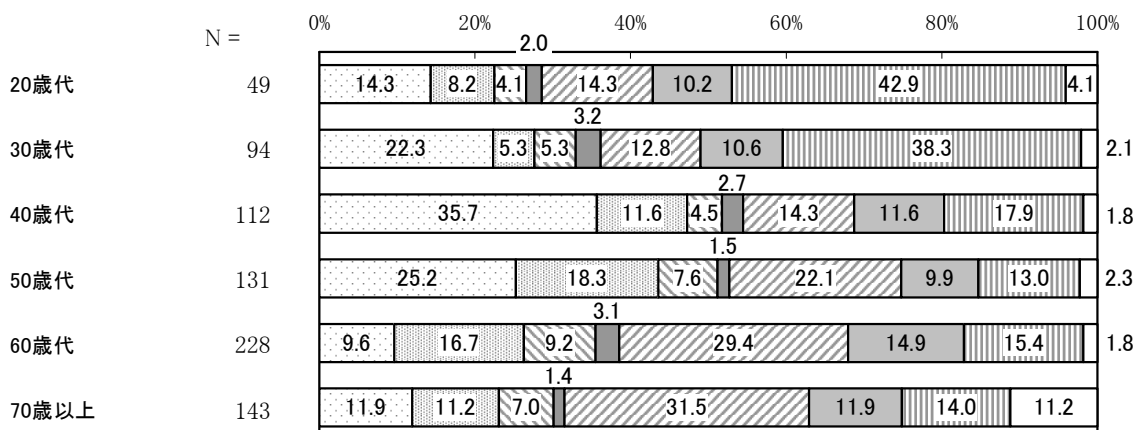
「社会人になってから」の割合が23.3%と最も高く、次いで「同和問題のことは知らない」の割合が19.6%、「小学生の頃」の割合が18.6%となっています。



**【性別】**



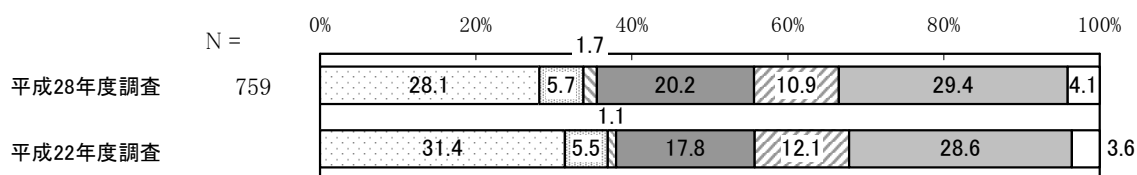
**【年齢別】**



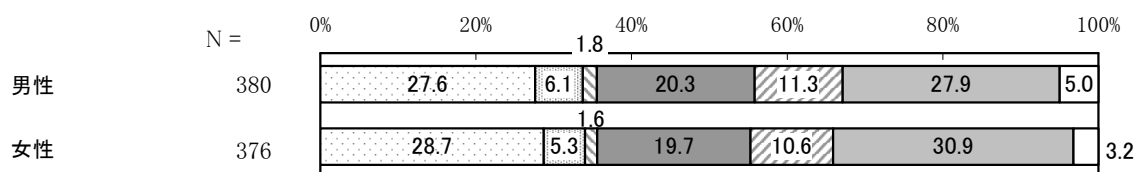
問 21 同和問題に対するあなたの構え方として、一番近いものはどれですか。(1つだけ)

「わからない」の割合が29.4%と最も高く、次いで「人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい」の割合が28.1%、「あまりさわがずそっとしておけばよい」の割合が20.2%となっています。

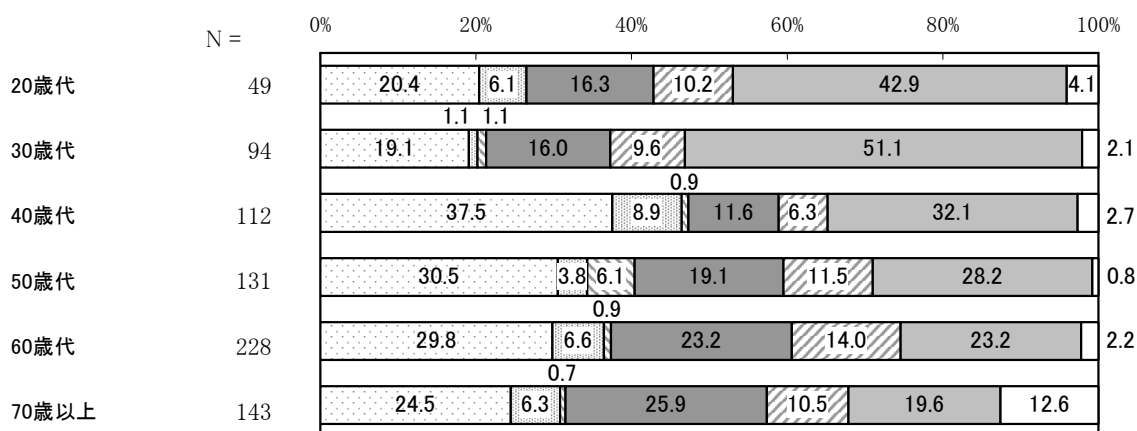
- 人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい
- ▨ 難しい問題なので、できるだけ避けていきたい
- ▩ 同和地区の人々の問題であり、自分には関係ない
- あまりさわがずそっとしておけばよい
- ▧ 特に興味はない
- わからない
- 無回答



【性別】

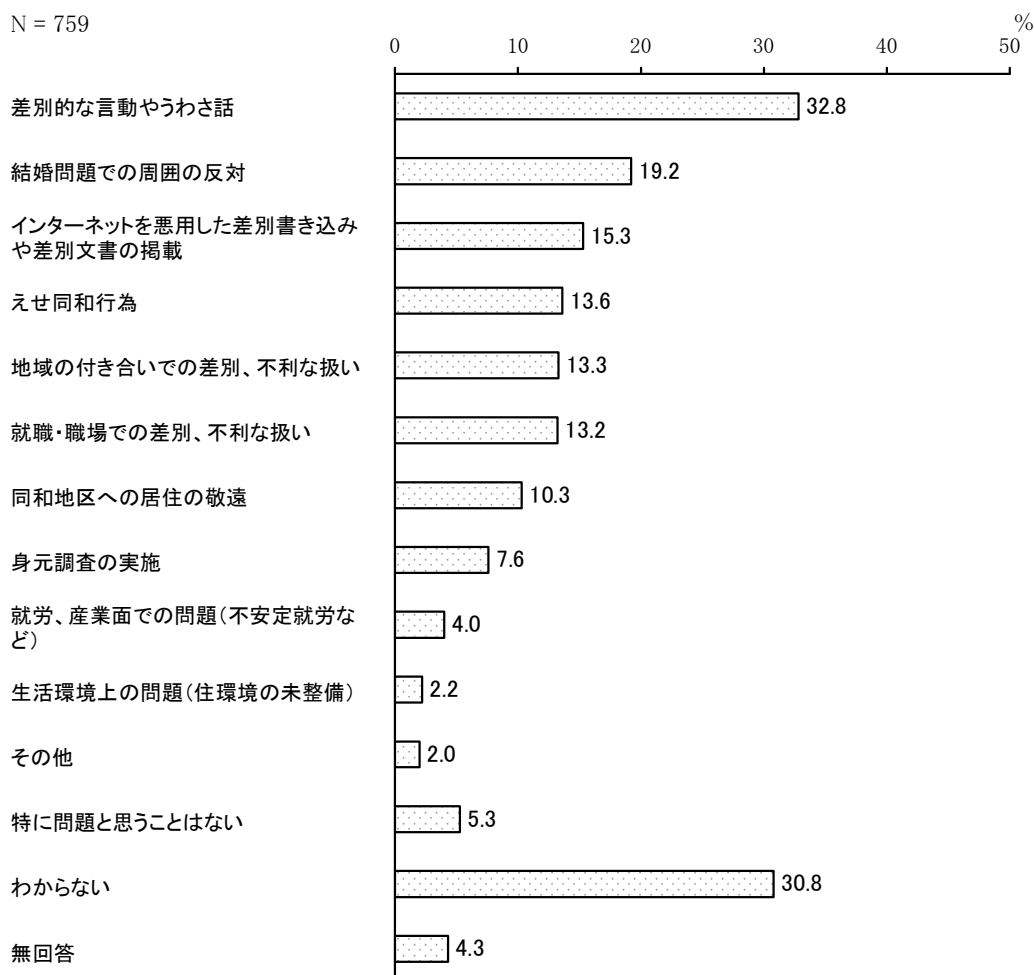


【年齢別】



問 22 同和問題について、今特に問題があると思うのはどのようなことですか。  
(3つまで)

「差別的な言動やうわさ話」の割合が32.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が30.8%、「結婚問題での周囲の反対」の割合が19.2%となっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	差別的な言動やうわさ話	インターネットを悪用した差別書き込みや差別文書の掲載	就職・職場での差別、不利な扱い	結婚問題での周囲の反対	身元調査の実施	地域の付き合いでの差別、不利な扱い	同和地区への居住の敬遠	生活環境上の問題(住環境の未整備)	就労、産業面での問題(不安定就労など)	えせ同和行為	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	380	30.0	14.2	13.7	17.4	8.2	11.1	10.5	2.4	4.2	18.9	2.1	6.1	29.2	6.1
女性	376	35.6	16.5	12.8	21.0	7.2	15.7	10.1	2.1	3.7	8.2	1.6	4.5	32.4	2.7

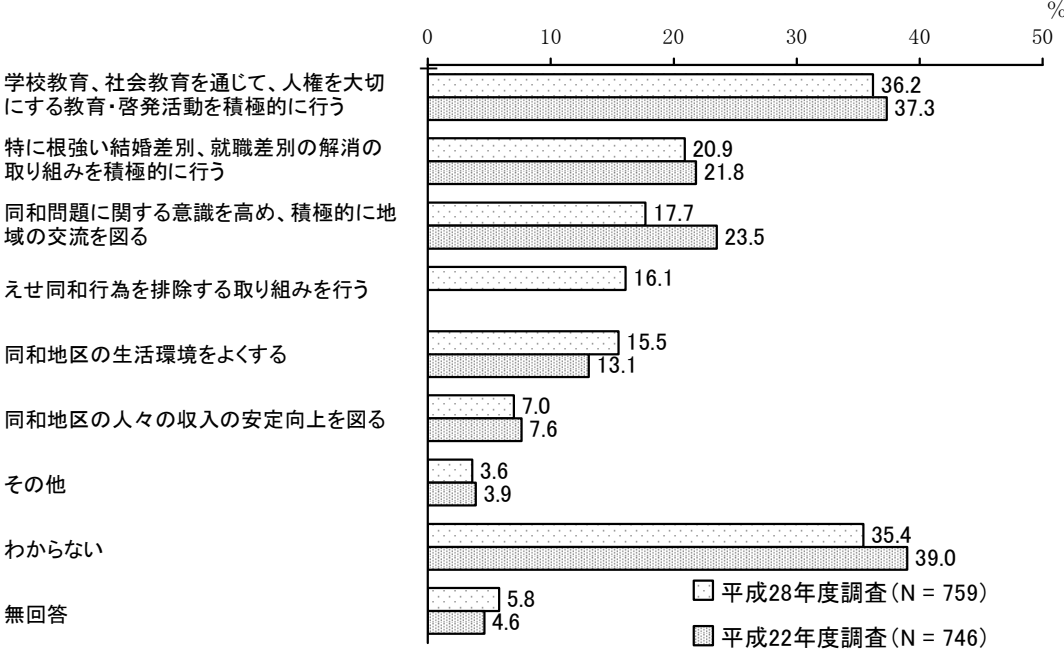
【年齢別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	差別的な言動やうわさ話	インターネットを悪用した差別書き込みや差別文書の掲載	就職・職場での差別、不利な扱い	結婚問題での周囲の反対	身元調査の実施	地域の付き合いでの差別、不利な扱い	同和地区への居住の敬遠	生活環境上の問題(住環境の未整備)	就労、産業界での問題(不安定就労など)	えせ同和行為	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
20歳代	49	26.5	18.4	16.3	18.4	—	12.2	14.3	4.1	10.2	4.1	2.0	6.1	42.9	4.1
30歳代	94	21.3	10.6	13.8	11.7	7.4	9.6	6.4	4.3	5.3	16.0	3.2	—	47.9	3.2
40歳代	112	40.2	23.2	8.0	16.1	7.1	13.4	6.3	0.9	2.7	14.3	1.8	3.6	31.3	1.8
50歳代	131	39.7	13.7	15.3	24.4	8.4	14.5	15.3	2.3	3.1	18.3	2.3	3.8	27.5	0.8
60歳代	228	35.5	17.1	15.8	18.0	9.2	15.8	10.1	0.9	4.8	13.2	2.2	6.6	25.9	3.5
70歳以上	143	25.9	9.8	9.8	23.8	7.7	11.2	10.5	3.5	1.4	11.2	—	9.1	26.6	11.9

問 23 あなたは、今後の同和問題についてどのような取り組みが重要だと思いますか。  
(3つまで)

「学校教育、社会教育を通じて、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う」の割合が36.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が35.4%、「特に根強い結婚差別、就職差別の解消の取り組みを積極的に行う」の割合が20.9%となっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	同和地区の生活環境をよくする	同和地区の人々の収入の安定向上を図る	学校教育、社会教育を通じて、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う	特に根強い結婚差別、就職差別の解消の取り組みを積極的に行う	同和問題に関する意識を高め、積極的に地域の交流を図る	えせ同和行為を排除する取り組みを行う	その他	わからない	無回答
男性	380	14.2	6.3	37.6	20.5	16.6	20.3	3.2	32.1	6.8
女性	376	17.0	7.7	34.8	21.3	18.6	12.0	4.0	38.8	4.5

【年齢別】

単位：%

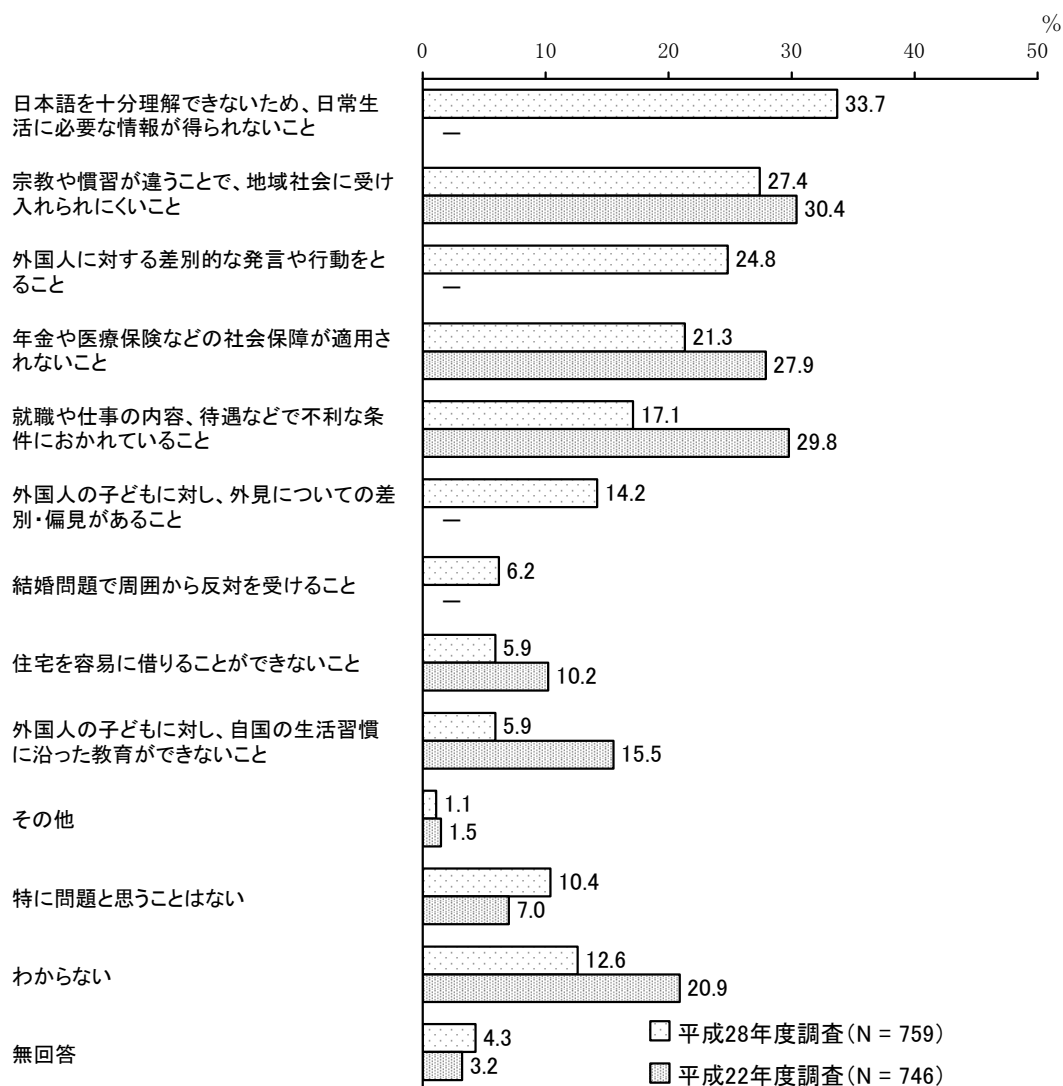
区分	有効回答数（件）	同和地区の生活環境をよくする	同和地区の人々の収入の安定向上を図る	学校教育、社会教育を通じて、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う	特に根強い結婚差別、就職差別の解消の取り組みを積極的に行う	同和問題に関する意識を高め、積極的に地域の交流を図る	えせ同和行為を排除する取り組みを行う	その他	わからない	無回答
20 歳代	49	18.4	14.3	30.6	18.4	12.2	4.1	6.1	44.9	6.1
30 歳代	94	12.8	8.5	16.0	11.7	12.8	12.8	5.3	51.1	3.2
40 歳代	112	14.3	8.9	34.8	19.6	17.0	23.2	2.7	34.8	2.7
50 歳代	131	18.3	6.1	36.6	22.1	15.3	21.4	2.3	35.9	1.5
60 歳代	228	16.2	7.5	44.7	22.4	20.2	14.9	4.4	30.7	4.8
70 歳以上	143	14.0	2.1	38.5	25.2	21.0	14.0	2.1	30.1	14.7



## 8 日本に居住する外国人の人権について

問 24 次にあげるもののうち、外国人の人権問題について特に問題があると思われることは何ですか。(3つまで)

「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報が得られないこと」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「宗教や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと」の割合が 27.4%、「外国人に対する差別的な発言や行動をとること」の割合が 24.8%となっています。



※平成 22 年度調査には「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報が得られないこと」「外国人に対する差別的な発言や行動をとること」「外国人の子どもに対し、外見についての差別・偏見があること」「結婚問題で周囲から反対を受けること」の選択肢はありませんでした。

【性別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	外国人に対する差別的な発言や行動をとること	結婚問題で周囲から反対を受けること	年金や医療保険などの社会保障が適用されないこと	住宅を容易に借りることができないこと	宗教や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと	外国人の子どもに対し、外見についての差別・偏見があること
男性	380	27.6	6.1	20.8	5.0	32.6	16.1
女性	376	21.8	6.4	22.1	6.6	22.3	12.5

区分	外国人の子どもに対し、自国の生活習慣に沿った教育ができないこと	就職や仕事の内容、待遇などで不利な条件におかれていること	日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報が得られないこと	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	5.8	15.3	32.1	1.1	11.3	10.8	4.2
女性	6.1	19.1	35.4	0.8	9.6	14.4	4.5

【年齢別】

単位：％

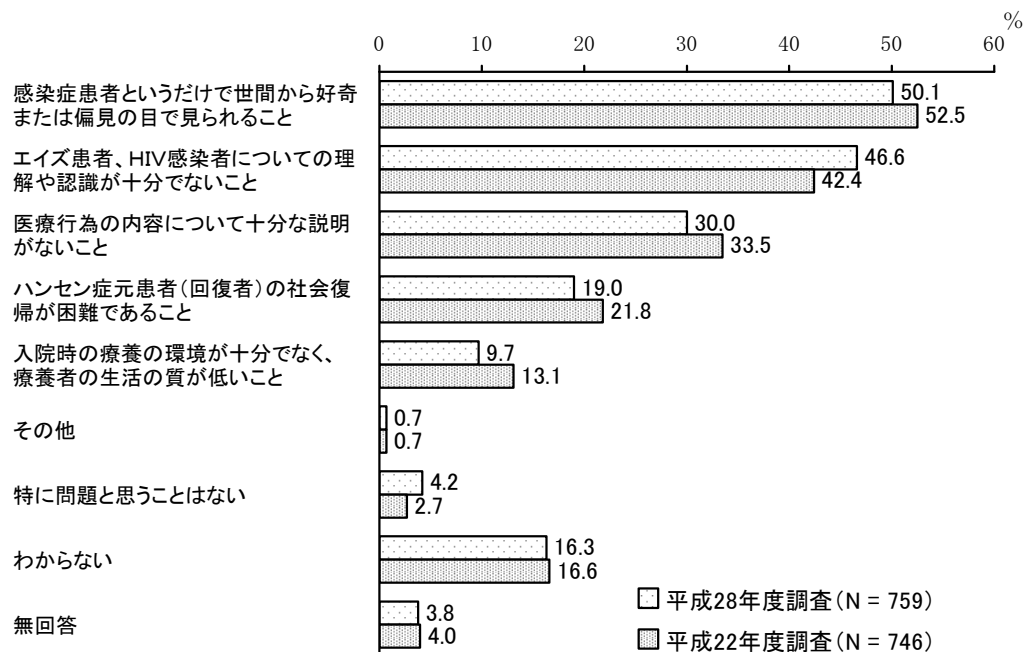
区分	有効回答数(件)	外国人に対する差別的な発言や行動をとること	結婚問題で周囲から反対を受けること	年金や医療保険などの社会保障が適用されないこと	住宅を容易に借りることができないこと	宗教や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと	外国人の子どもに対し、外見についての差別・偏見があること
20歳代	49	24.5	6.1	30.6	10.2	20.4	20.4
30歳代	94	22.3	8.5	17.0	6.4	23.4	20.2
40歳代	112	27.7	4.5	15.2	8.0	27.7	17.0
50歳代	131	30.5	3.8	22.1	5.3	26.0	13.0
60歳代	228	24.1	5.3	26.3	6.1	32.0	13.6
70歳以上	143	19.6	9.8	17.5	2.1	26.6	8.4

区分	外国人の子どもに対し、自国の生活習慣に沿った教育ができないこと	就職や仕事の内容、待遇などで不利な条件におかれていること	日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報が得られないこと	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
20歳代	12.2	22.4	26.5	—	12.2	8.2	4.1
30歳代	2.1	17.0	31.9	3.2	10.6	11.7	2.1
40歳代	9.8	13.4	31.3	1.8	10.7	12.5	0.9
50歳代	6.9	14.5	43.5	0.8	11.5	9.2	1.5
60歳代	4.8	22.4	37.3	0.4	9.2	13.2	2.6
70歳以上	4.2	12.6	24.5	—	10.5	17.5	14.0

## 9 感染症患者等の人権について（HIV、ハンセン病等）

問 25 次にあげるもののうち、感染症患者等の人権について特に問題があると思われることは何ですか。（3つまで）

「感染症患者というだけで世間から好奇または偏見の目で見られること」の割合が50.1%と最も高く、次いで「エイズ患者、HIV感染者についての理解や認識が十分でないこと」の割合が46.6%、「医療行為の内容について十分な説明がないこと」の割合が30.0%となっています。



### 【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	医療行為の内容について十分な説明がないこと	入院時の療養の環境が十分でなく、療養者の生活の質が低いこと	エイズ患者、HIV感染者についての理解や認識が十分でないこと	ハンセン症元患者(回復者)の社会復帰が困難であること	感染症患者というだけで世間から好奇または偏見の目で見られること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	380	30.3	9.2	47.9	17.4	47.9	1.1	5.3	14.7	4.2
女性	376	29.8	10.4	45.5	20.7	52.4	0.3	3.2	17.6	3.5

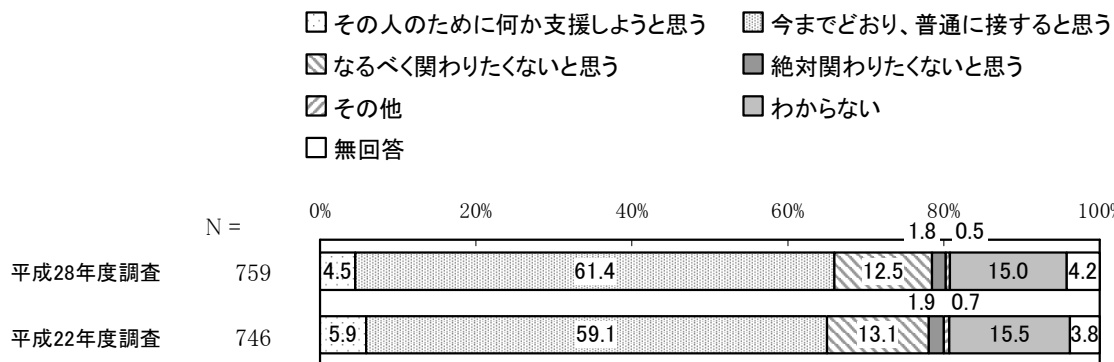
【年齢別】

単位：%

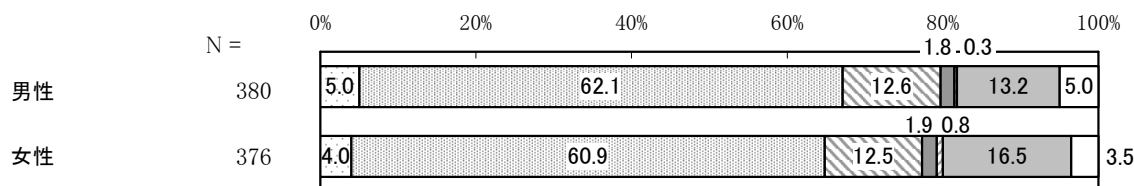
区分	有効回答数（件）	医療行為の内容について十分な説明がないこと	入院時の療養の環境が十分でなく、療養者の生活の質が低いこと	エイズ患者、HIV感染者についての理解や認識が十分でないこと	エイズ患者、HIV感染者（回復者）の社会復帰が困難であること	感染症患者というだけで世間から好奇または偏見の目で見られること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
20 歳代	49	30.6	6.1	53.1	20.4	59.2	—	2.0	12.2	2.0
30 歳代	94	17.0	7.4	50.0	14.9	52.1	1.1	6.4	14.9	3.2
40 歳代	112	34.8	10.7	55.4	16.1	56.3	—	0.9	10.7	—
50 歳代	131	38.9	13.7	50.4	20.6	43.5	—	3.8	19.1	0.8
60 歳代	228	30.3	11.4	44.3	21.5	52.6	1.8	4.8	16.7	2.6
70 歳以上	143	25.9	5.6	35.7	18.2	42.7	—	5.6	19.6	12.6

**問 26 あなたの職場や地域にエイズウイルスに感染した人やエイズ患者がいる場合、あなたはどのような態度で接すると思いますか。（1つだけ）**

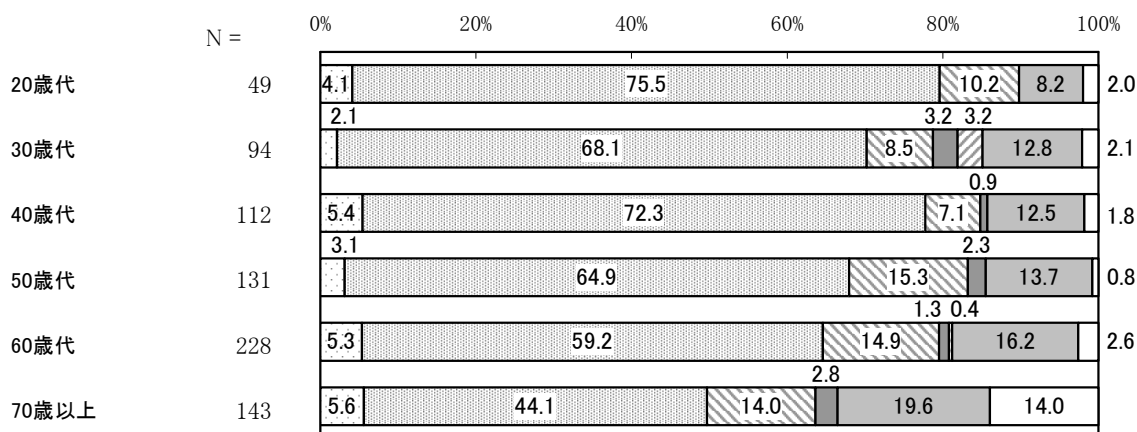
「今までどおり、普通に接すると思う」の割合が61.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が15.0%、「なるべく関わりたくないと思う」の割合が12.5%となっています。



**【性別】**



**【年齢別】**

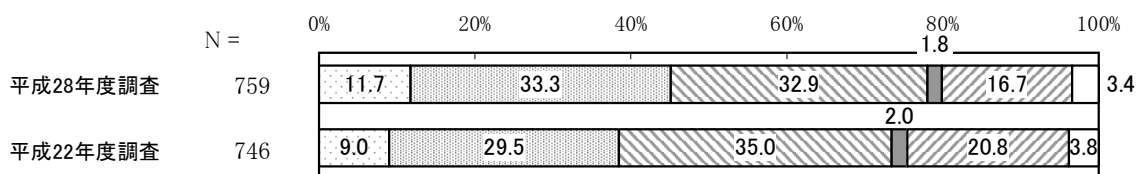


## 10 アイヌの人々の人権について

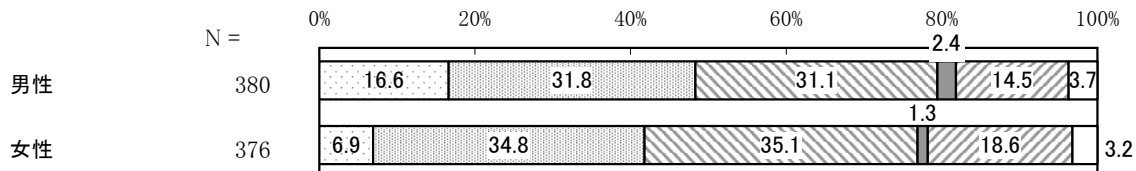
問 27 あなたは、アイヌの人々の文化を保護し、人権を尊重する法律がありますが、どう考えますか。(1つだけ)

「アイヌの人々の伝統や文化を大切に保存していく必要がある」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「アイヌの人々と身近に接したことがなく、あまり考えたことがない」の割合が 32.9%、「わからない」の割合が 16.7%となっています。

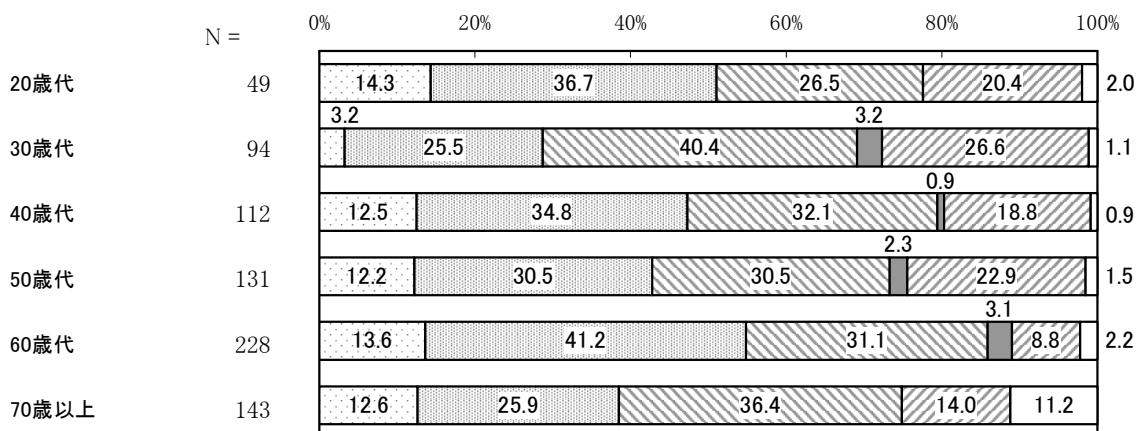
- 「日本は単一民族だ」という考えは、アイヌの人々の存在を無視した見方であり、アイヌの人々の人権を守る必要がある
- アイヌの人々の伝統や文化を大切に保存していく必要がある
- アイヌの人々と身近に接したことがなく、あまり考えたことがない
- 法律まで定めてアイヌの人々を支援するのは、理解できない
- わからない
- 無回答



### 【性別】



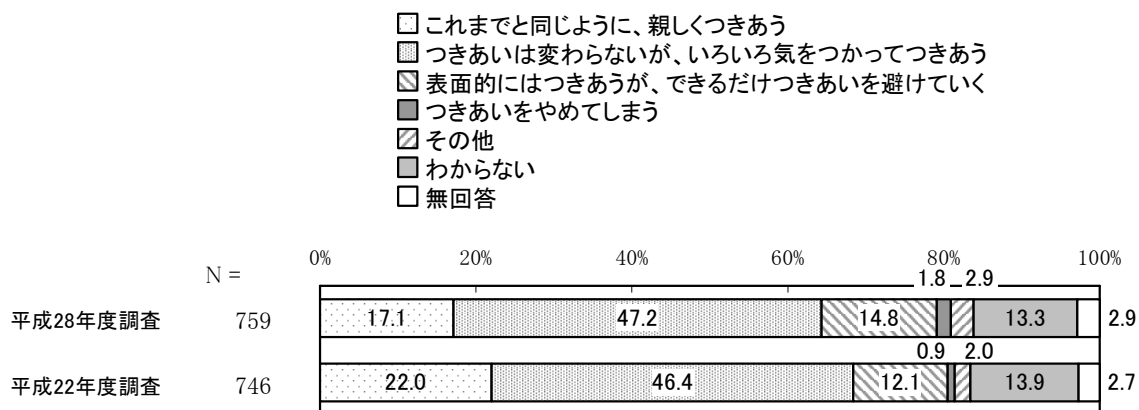
### 【年齢別】



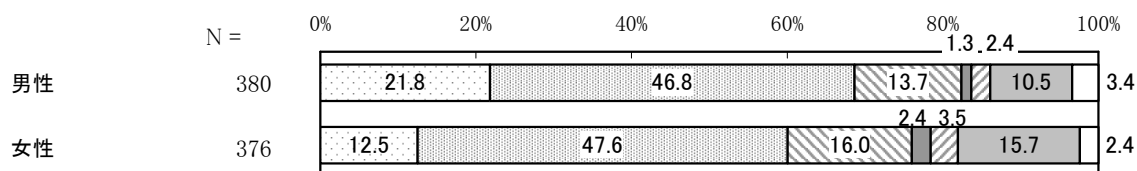
## 11 刑を終えて出所した人の人権について

問 28 日頃から親しくつきあっていた人が、刑を終えて出所した人であるとき、あなたはどうしますか。(1つだけ)

「つきあいは変わらないが、いろいろ気をつけてつきあう」の割合が47.2%と最も高く、次いで「これまでと同じように、親しくつきあう」の割合が17.1%、「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいを避けていく」の割合が14.8%となっています。



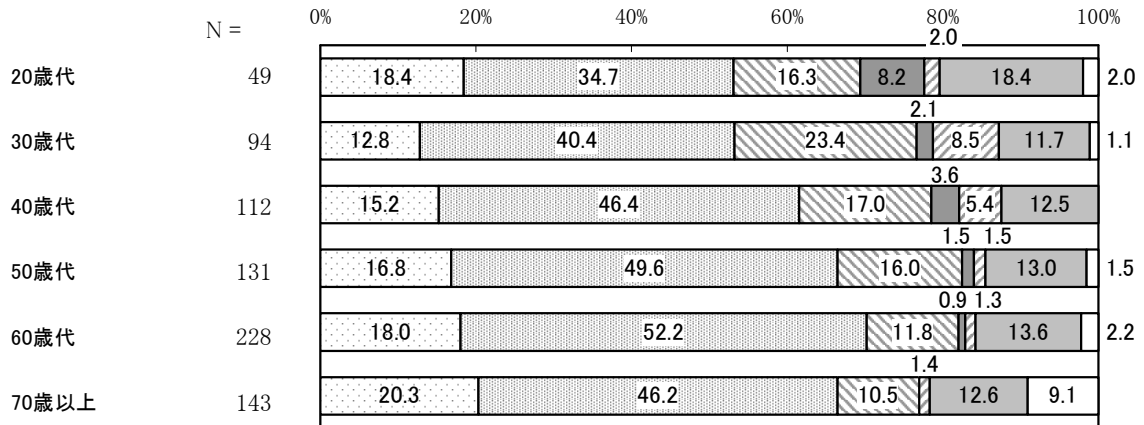
### 【性別】





【年齢別】

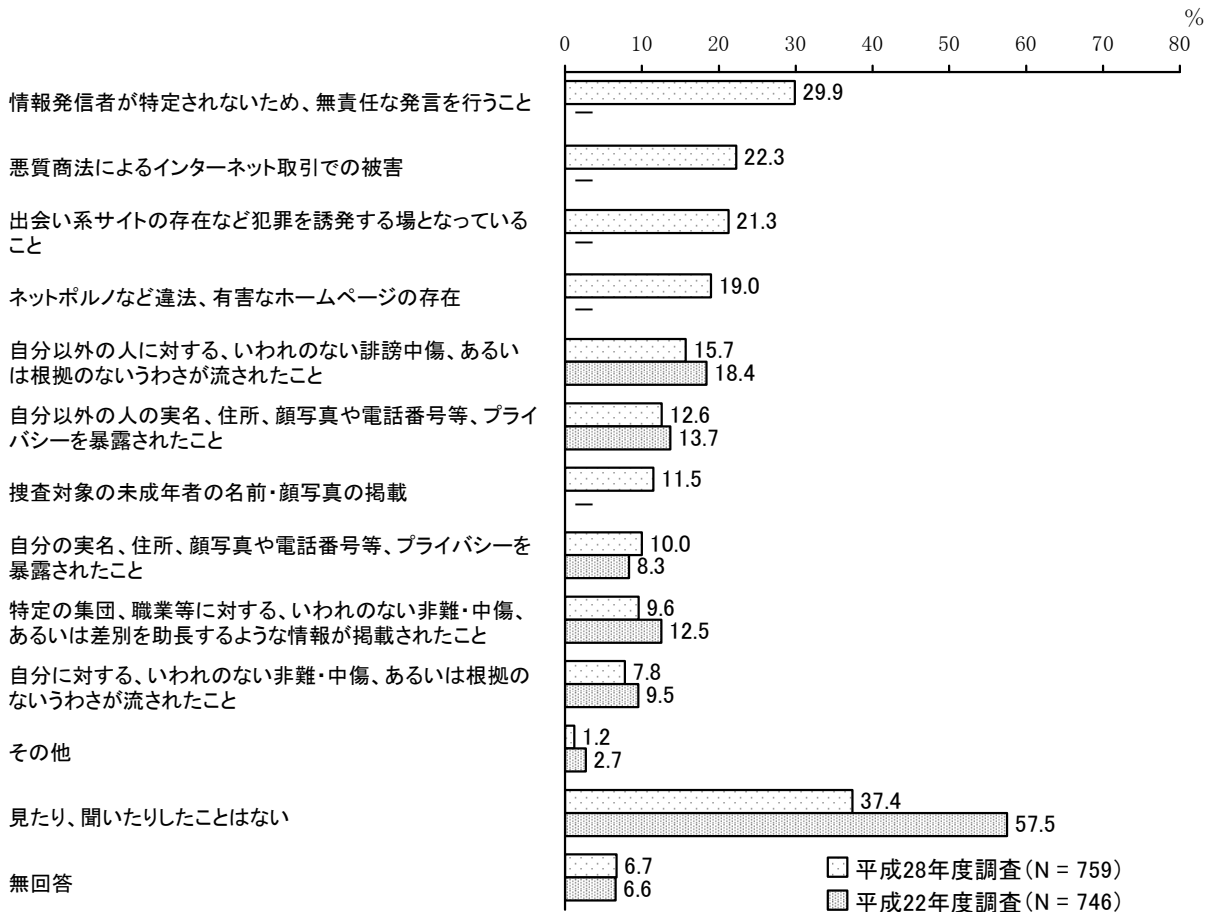
- これまでと同じように、親しくつきあう
- ▨ つきあいは変わらないが、いろいろ気をつけてつきあう
- ▧ 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいを避けていく
- つきあいをやめてしまう
- ▩ その他
- わからない
- 無回答



## 12 インターネット等による人権について

問 29 あなたは、インターネットや携帯電話などで人権上問題があると思われる情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。(いくつでも)

「見たり、聞いたりしたことはない」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「情報発信者が特定されないため、無責任な発言を行うこと」の割合が 29.9%、「悪質商法によるインターネット取引での被害」の割合が 22.3%、「出会い系サイトの存在など犯罪を誘発する場となっていること」の割合が 21.3%、「ネットポルノなど違法、有害なホームページの存在」の割合が 19.0%、「自分以外の人に対する、いわれのない誹謗中傷、あるいは根拠のないうわさが流されたこと」の割合が 18.4%、「自分以外の人の実名、住所、顔写真や電話番号等、プライバシーを暴露されたこと」の割合が 13.7%、「捜査対象の未成年者の名前・顔写真の掲載」の割合が 11.5%、「自分の実名、住所、顔写真や電話番号等、プライバシーを暴露されたこと」の割合が 10.0%、「特定の集団、職業等に対する、いわれのない非難・中傷、あるいは差別を助長するような情報が掲載されたこと」の割合が 12.5%、「自分に対する、いわれのない非難・中傷、あるいは根拠のないうわさが流されたこと」の割合が 9.5%、「その他」の割合が 2.7%、「無回答」の割合が 6.6%となっています。



【性別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	自分の実名、住所、顔写真や電話番号等、プライバシーを暴露されたこと	自分以外の人の実名、住所、顔写真や電話番号等、プライバシーを暴露されたこと	自分に対する、いわれのない非難・中傷、あるいは根拠のないうわさが流されたこと	自分以外の人に対する、いわれのない誹謗中傷、あるいは根拠のないうわさが流されたこと	捜査対象の未成年者の名前・顔写真の掲載	情報発信者が特定されないため、無責任な発言を行うこと
男性	380	10.0	13.9	8.9	16.8	11.8	33.7
女性	376	10.1	11.2	6.6	14.4	11.2	26.1

区分	出会い系サイトの存在など犯罪を誘発する場となっていること	ネットポルノなど違法、有害なホームページの存在	悪質商法によるインターネット取引での被害	特定の集団、職業等に対する、いわれのない非難・中傷、あるいは差別を助長するような情報が掲載されたこと	その他	見たり、聞いたりしたことはない	無回答
男性	22.1	21.1	28.4	10.8	0.5	32.4	6.1
女性	20.7	17.0	16.2	8.5	1.9	42.3	7.4

【年齢別】

単位：%

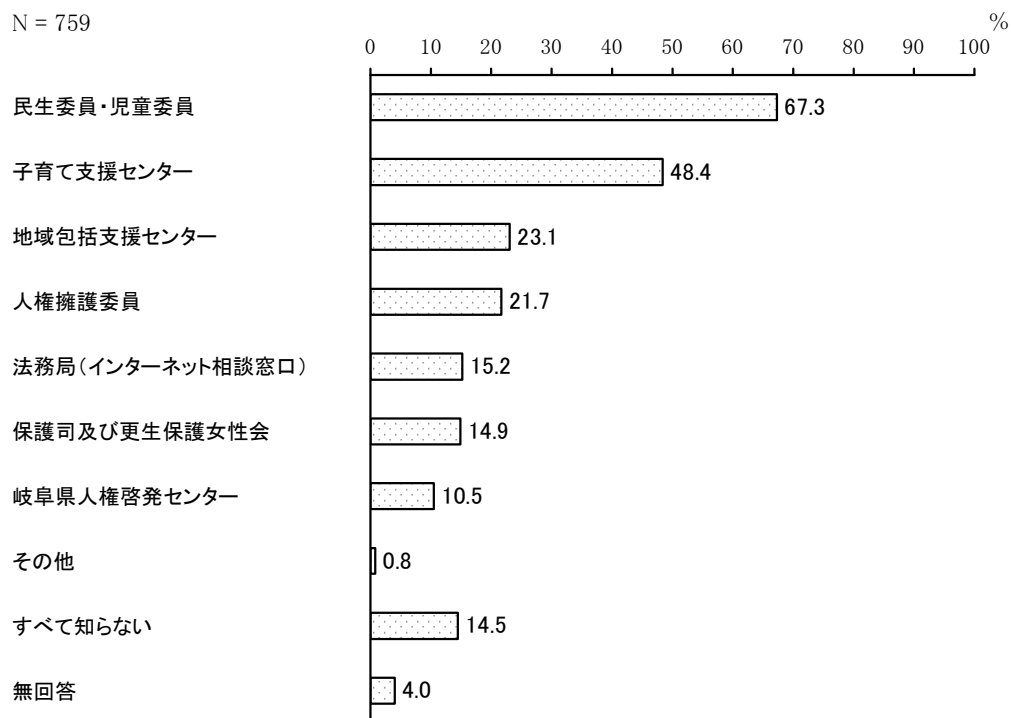
区分	有効回答数(件)	自分の実名、住所、顔写真や電話番号等、プライバシーを暴露されたこと	自分以外の人の実名、住所、顔写真や電話番号等、プライバシーを暴露されたこと	自分に対する、いわれのない非難・中傷、あるいは根拠のないうわさが流されたこと	自分以外の人に対する、いわれのない誹謗中傷、あるいは根拠のないうわさが流されたこと	捜査対象の未成年者の名前・顔写真の掲載	情報発信者が特定されないため、無責任な発言を行うこと
20歳代	49	16.3	22.4	14.3	26.5	12.2	44.9
30歳代	94	13.8	19.1	12.8	25.5	16.0	39.4
40歳代	112	12.5	17.0	8.9	17.9	13.4	41.1
50歳代	131	14.5	19.8	8.4	19.1	20.6	36.6
60歳代	228	7.9	5.7	5.7	10.1	9.6	25.9
70歳以上	143	2.8	5.6	4.2	9.1	1.4	9.8

区分	出会い系サイトの存在など犯罪を誘発する場となっていること	ネットポルノなど違法、有害なホームページの存在	悪質商法によるインターネット取引での被害	特定の集団、職業等に対する、いわれのない非難・中傷、あるいは差別を助長するような情報が掲載されたこと	その他	見たり、聞いたりしたことはない	無回答
20歳代	12.2	12.2	22.4	18.4	2.0	20.4	4.1
30歳代	24.5	25.5	29.8	11.7	—	21.3	1.1
40歳代	22.3	20.5	22.3	14.3	0.9	24.1	3.6
50歳代	28.2	32.1	29.8	16.0	1.5	32.1	2.3
60歳代	23.2	13.6	21.1	5.3	1.3	46.9	7.0
70歳以上	12.6	12.6	12.6	2.8	1.4	53.8	17.5

### 13 今後の人権教育啓発について

#### 問 30 人権に関わる機関（窓口）を知っていますか。（いくつでも）

「民生委員・児童委員」の割合が 67.3%と最も高く、次いで「子育て支援センター」の割合が 48.4%、「地域包括支援センター」の割合が 23.1%となっています。



#### 【性別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	人権擁護委員	民生委員・児童委員	子育て支援センター	地域包括支援センター	岐阜県人権啓発センター	保護司及び更生保護女性会	法務局（インターネット相談窓口）	その他	すべて知らない	無回答
男性	380	27.6	65.0	39.7	17.1	11.6	14.7	18.7	0.5	15.8	3.9
女性	376	16.0	70.2	57.4	29.3	9.6	15.2	11.4	1.1	13.0	3.7

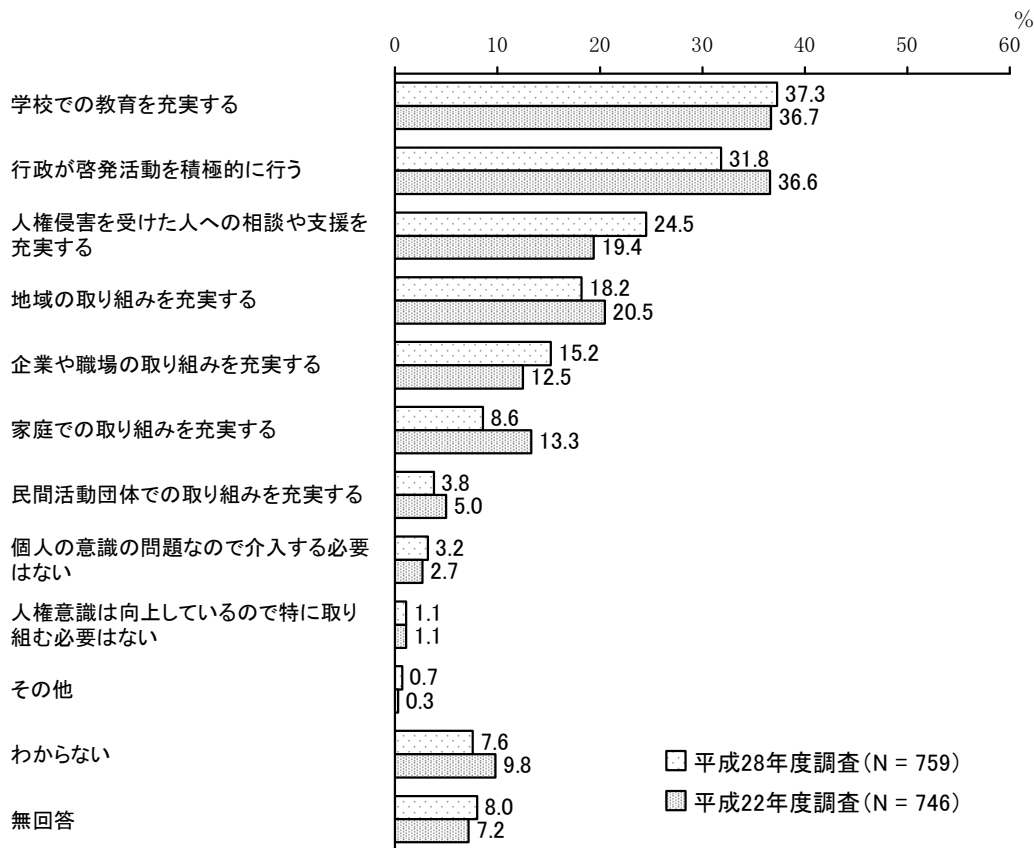
【年齢別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	人権擁護委員	民生委員・児童委員	子育て支援センター	地域包括支援センター	岐阜県人権啓発センター	保護司及び更生保護女性会	法務局(インターネット相談窓口)	その他	すべて知らない	無回答
20歳代	49	12.2	44.9	46.9	28.6	6.1	2.0	12.2	—	28.6	2.0
30歳代	94	3.2	42.6	48.9	16.0	6.4	1.1	16.0	—	28.7	4.3
40歳代	112	15.2	66.1	62.5	18.8	11.6	11.6	13.4	0.9	14.3	0.9
50歳代	131	20.6	71.8	48.9	23.7	12.2	19.8	20.6	0.8	15.3	1.5
60歳代	228	28.5	77.2	48.7	27.2	11.4	21.1	13.2	0.9	7.9	3.5
70歳以上	143	32.9	73.4	37.1	22.4	11.2	16.8	14.7	1.4	10.5	9.1

問 31 人権問題についての理解を深め、人権意識を高めるために、今後どのような取り組みを行えばよいと思いますか。(2つまで)

「学校での教育を充実する」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「行政が啓発活動を積極的に行う」の割合が 31.8%、「人権侵害を受けた人への相談や支援を充実する」の割合が 24.5%となっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	行政が啓発活動を積極的に行う	地域の取り組みを充実する	企業や職場の取り組みを充実する	民間活動団体での取り組みを充実する	家庭での取り組みを充実する	学校での教育を充実する	人権侵害を受けた人への相談や支援を充実する	人権意識は向上しているのに特に取り組む必要はない	個人の意識の問題なので介入する必要はない	その他	わからない	無回答
男性	380	35.0	18.7	15.3	4.2	8.7	35.0	22.6	1.6	3.2	1.1	7.6	6.3
女性	376	28.5	17.8	14.9	3.5	8.5	39.9	26.6	0.5	3.2	0.3	7.7	9.3

【年齢別】

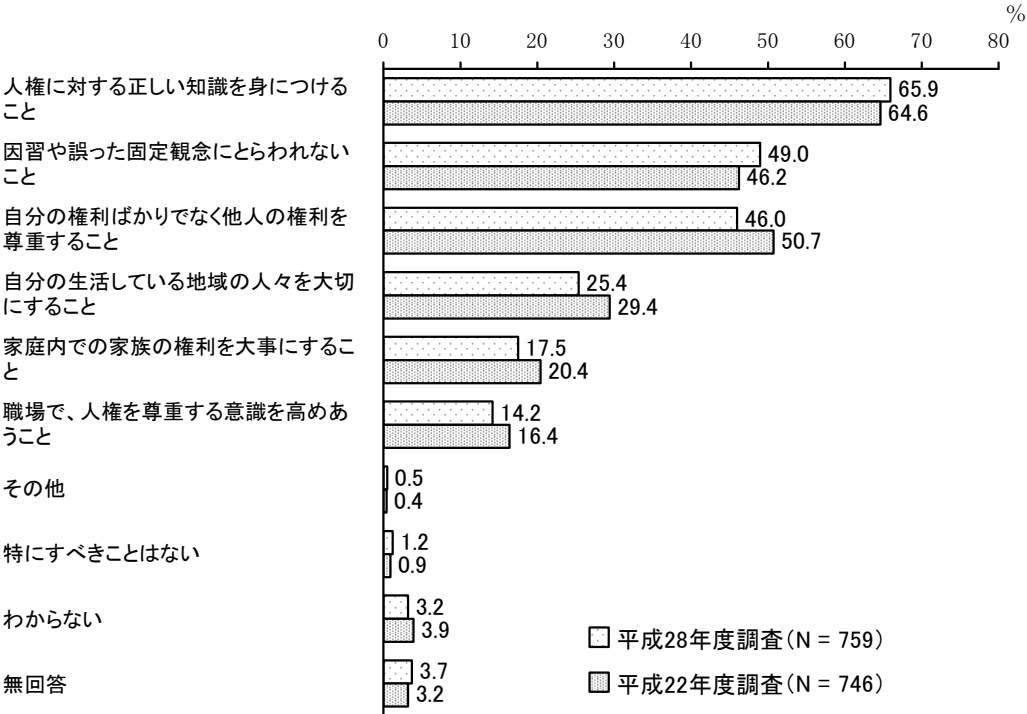
単位：%

区分	有効回答数(件)	行政が啓発活動を積極的に行う	地域の取り組みを充実する	企業や職場の取り組みを充実する	民間活動団体での取り組みを充実する	家庭での取り組みを充実する	学校での教育を充実する	人権侵害を受けた人への相談や支援を充実する	人権意識は向上しているのに特に取り組む必要はない	個人の意識の問題なので介入する必要はない	その他	わからない	無回答
20歳代	49	36.7	14.3	20.4	2.0	8.2	42.9	12.2	—	2.0	2.0	6.1	8.2
30歳代	94	31.9	13.8	13.8	3.2	12.8	44.7	20.2	2.1	4.3	—	7.4	1.1
40歳代	112	30.4	18.8	20.5	1.8	11.6	42.9	20.5	—	1.8	0.9	4.5	8.0
50歳代	131	38.2	14.5	9.2	1.5	7.6	38.2	33.6	—	3.1	1.5	9.2	6.9
60歳代	228	29.8	19.3	17.5	5.3	6.1	37.7	28.9	1.3	2.6	0.4	7.5	5.7
70歳以上	143	28.0	23.8	11.2	6.3	8.4	25.2	19.6	2.1	4.9	—	9.8	16.8



問 32 あなたは、市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心がけたり行動したりすべきことはどのようなことだと思いますか。（3つまで）

「人権に対する正しい知識を身につけること」の割合が 65.9%と最も高く、次いで「因習や誤った固定観念にとらわれないこと」の割合が 49.0%、「自分の権利ばかりでなく他人の権利を尊重すること」の割合が 46.0%となっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	人権に対する正しい知識を身につけること	因習や誤った固定観念にとらわれないこと	自分の権利ばかりでなく他人の権利を尊重すること	自分の生活している地域の人々を大切にすること	家庭内での家族の権利を大事にすること	職場で、人権を尊重する意識を高めようこと	その他	特にすべきことはない	わからない	無回答
男性	380	65.3	45.8	51.8	21.8	17.1	14.5	0.5	0.5	3.7	4.2
女性	376	66.8	52.4	40.2	29.0	17.8	14.1	0.5	1.9	2.7	2.9

【年齢別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	人権に対する正しい知識を身につけること	人権に對する正しい知識を身につけること	観念にとらわれな	因習や誤った固定	を尊重すること	自分の権利ばかりでなく他人の権利を尊重すること	自分の生活している地域の人々を大切にすること	家庭内での家族の権利を大事にすること	職場で、人権を尊重する意識を高めようこと	その他	特にすべきことはない	わからない	無回答
20 歳代	49	65.3	53.1	30.6	18.4	16.3	18.4	—	2.0	4.1	4.1			
30 歳代	94	74.5	50.0	36.2	17.0	20.2	19.1	—	1.1	3.2	1.1			
40 歳代	112	66.1	54.5	42.9	21.4	13.4	8.9	1.8	—	0.9	3.6			
50 歳代	131	72.5	55.0	39.7	22.1	15.3	16.0	—	2.3	3.8	2.3			
60 歳代	228	67.1	45.6	52.6	26.3	17.1	16.2	0.4	0.9	3.9	2.6			
70 歳以上	143	52.4	42.7	55.2	38.5	22.4	9.1	0.7	1.4	2.8	7.7			